事務事業評価票

所管部長等名 建設部長 市村 誠治 所管課·係名 下水道建設課 計画係

						人 担 注 設 誌						
評価対象年度	平成26年度			課長名				福田	新士			
			(Plan) 事務	事業の	計画							
					会計区	分	(8 公共下水	〈道事業	特別会計		
事務事業名	八代処理区維持	<mark>诗管</mark> 理	事業		款項目コード(割	吹-項-目)	01	_	01	_	03	
					事業コード(大・	-中-小)	83	_	15	_	01	
	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせる	きち								
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政	(策】 1	うるおいのある快適なま	ちづくり								
おける位置づけ)	施策の展開(項) 【施	策】 5	下水道の充実									
	具体的な施策と内容	1	快適な生活環境の確保	と公共用	水域の水質係	全						
事務事業の目的	下水道施設(汚水)の網	維持管理	を行い、快適な生活環境の確	保と公共	:用水域の水質	質保全を	図る。					
事務事業の概要 (全体事業の内容)	八代処理区・八代東部 持管理に関する事業		の汚水を処理する水処理セン の。	ター及び	それを補完す	⁻ る施設で	である各中	継ポンプ場	・マンホ	ニールポンフ	プ場の維	
根拠法令、要綱等	下水道法 第2章 公	共下水道	道(第3条~第25条)									
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委訂	ŧ		る実施義務	• 1	義務である)	
(該当欄を選択)	その他()			闌を選択)	2	義務ではな	いば	
事業期間	開始年度		合併前		終了年	度			未定			

(Do) 事務項	事業の実施
評価対象年度の	り事業の内容
対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)
下水道へ接続した一般家庭及び事業場から排出される汚水	下水処理の施設である管渠、マンホール、水処理センター、汚水をセンターまで流すための補完施設である中継ポンプ場(中央中継ポンプ場、松崎中継ポンプ場、麦島中継ポンブ場)、及び中継ポンプ場までの補完施設であるマン
下水道施設の適正な維持管理を行い、安定した汚水処理により下水道利用 区域内の快適な生活環境の保全と公共用水域の水質保全を維持する。	ホールポンプ場(35箇所)の適切な維持管理を行う。 (主な事業内容)各施設の維持管理に必要な機器の点検整備に係る費用や施設運転管理業務のための委託料、機器の修繕費、処理に必要な薬品等の消耗品費、電気代等の光熱費など。 (事業費) 271,328千円 委託料:192,472千円 工事請負費:5,201千円 修繕料:13,764千円 消耗品費:891千円 光熱水費:54,019千円 等 (財源) その他特定財源:12,276千円 一般財源:259,052千円

事業開始時点からこれまでの状況変化等

昭和59年度に水処理センター及び中央中継ポンプ場の供用開始を行い、その後下水道処理区域の拡張に伴い、平成6年度に松崎中継ポンプ場、平成18年度に麦島中継ポンプ場を供用開始している。また、流入量の増加に伴い、水処理センターの施設増設や中継ポンプ場のポンプ増設等を行っている。

業費 費 財源内訳	地方債 その他特定財源(特別会計→網	(単位	:千円)	266, 555 266,555 0	284, 129 277,829	291,628 271,328	0	0	0	0
財源内	国県支出金 地方債 その他特定財源(特別会計→総		:千円)	,	,	271,328	0	•		
源内	地方債 その他特定財源(特別会計→総	37 全)		0			·	0	0	0
源内	地方債 その他特定財源(特別会計→網	· 7 全)			0	0	0	0	0	0
	CO/16时是别加入时办公司	1 个)		0	0	0	0	0	0	0
机	一般財源(特別会計→事業収入	八亚)		10,641	4,501	12,276	0	0	0	0
	从外, 从, 人, 人,	()		255,914	273,328	259,052	0	0	0	0
	人件費			24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見
概	算人件費(正規職員)	(単位	:千円)	-	6, 300	20,300	0	0	0	0
正規職員従事者数		(単位	立:人)	-	0. 90	2.90	0.00	0.00	0.00	0.00
哉員等	従事者数	立:人)	-	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	指標名		単位	ī \	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
八 1)	代市水処理センターでの汚水処理	量	m³/4	計画	-	5614832	5673051	5886658	6066500	6150876
יי			1117 -	実績	5391950	5476326	5404511	-	-	-
2)				計画	-					
				実績				-	-	-
3)			計画	-						
9			実績				-	-	-	
記述權	闌〉※数値化できない場合									
2 3		八代市水処理センターでの汚水処理	八代市水処理センターでの汚水処理量	八代市水処理センターでの汚水処理量 ㎡/全	八代市水処理センターでの汚水処理量 計画 実績 まけん また	八代市水処理センターでの汚水処理量 計画 - 実績 5391950 計画 - 実績 計画 - 実績 計画 - 実績 ま績	八代市水処理センターでの汚水処理量 計画 - 5614832 実績 5391950 5476326 計画 - 実績 計画 - 実績	八代市水処理センターでの汚水処理量 計画 - 5614832 5673051 実績 5391950 5476326 5404511 計画 - 実績 計画 - 実績 実績	八代市水処理センターでの汚水処理量 計画 - 5614832 5673051 5886658 実績 5391950 5476326 5404511 - 計画 - - - 計画 - - 計画 - - 実績 - - 実績 -	八代市水処理センターでの汚水処理量 計画 - 5614832 5673051 5886658 6066500 実績 5391950 5476326 5404511 - - 実績 - - - 計画 - - - 実績 - - - 実績 - - -

八代処理区維持管理事業 Page 1 of 3

別記様式 (第5条関係)

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	(年平均値)	下水道法第八条により、 放流水BOD値は15mg/lと 定めてある。	mg∕l	計画	ı	10	10	10	10	10
もたらそう				ilig/ &	実績	5.1	3.6	3.2	ı	1	1
そうとす	2				計画	ı					
成果指標 りとする効果・t					実績				-	-	-
成果の数値化	3				計画	-					
化	3				実績				-	-	-

〈記述欄〉※数値化できない場合

【補足説明】BOD(生物化学的酸素要求量):水中の有機物などの量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したもの。BODの値が大きいほど、その水質は悪いと言える。

		(Check) 事務事業の	白己評価
		チェック	判断理由
	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	● 結びつく 一部結びつく 結びつかない	八代市総合計画に明記してある。
事業実施の 妥当性	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	● 薄れていない 少し薄れている 薄れている	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全における下水道事業の担う役割は大きい。
	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です か(国・県・民間と競合していませんか)	● 妥当である あまり妥当でない 妥当でない	下水道法第三条に明記されている。
活動内容の	【事業の達成状況】 ① 成果目標の達成状況は順調に推移 ていますか	● 順調である あまり順調ではない 順調ではない	放流水の水質については、水質汚濁防止法や下水道法で定められた水質基準を満たしており、順調である。
有効性	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を ② 見直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできませんか)	見直しの余地はない 検討の余地あり 見直すべき	平成27年度が施設運転管理長期継続契約の更新時期であることから、さらなる経費節減と業務の効率化を図るために管理委託内容について見直し作業を行う必要がある。
	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	できない 検討の余地あり 可能である	平成27年度が施設運転管理長期継続契約の更新時期であることから、さらなる経費節減と業務の効率化を図るために管理委託内容について見直し作業を行う必要がある。
実施方法の	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可能ですか	できない ● 検討の余地あり 可能である	類似施設として、環境課所管し尿処理施設である衛生処理センターが改築更新の時期であることから、事業連携を図る必要がある。
効率性	【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員による対応その他の方法により、人費を削減することは可能ですか		包括的民間委託の導入による職員削減を検討する。
	【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、 ④ 受益者負担を見直す必要はあります か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	見直しの余地はない ◆ 検討の余地あり 見直しが必要である	下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入 (下水道使用料・受益者負担金)により賄うのが原則であるが、収入 不足については一般会計からの繰入金により補填している状況であ り、受益者負担金の適正化が求められる。

八代処理区維持管理事業 Page 2 of 3

,	別記禄	烎	()	月5条	関係)							
								(Act	io	n)事務事業の方向性と改革改善		
				1 不要(廃止)					(今後の方向性の理由)		
				2 民間実	ミ施					施設の更新や改築については、市による実施が必要と考える		
	今後の			3 市による	6(民間委討	モの拉	t大·t	5民等との協働等	等)	民間への委託拡大(包括的民間委託を含む)いわゆるアウトソ	一ンングを検	語する。
	方向性 当欄を選		ullet	4 市によ	る実施(要改	善)					
				5 市によ	る実施(現行	どお	IJ)				
				6 市によ	る実施(規模	拡充)				
										今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果		
26 2	直改善内	一次	施設	と維持管理	理に関す	る費	用は	、民間委託へ	移	行可能な業務を拡大させることで削減される可能性もあるため	、その業務内]容の精査を含め、検
42.	FWEI	ים ני	削し	(614)								
				ス能法成果								
	改革改	対善に	こよる	5期待成	果							
				コスト			外	部評価の実施	5	無	実施年度	
		削	減	維持	増加		改	H26進捗状況	7			
	向上						善進					
							掺状	H26取組内容	724			
成果	維持						況	112042411111111	1			
果	44233						7					
	低下											
	12.						· + /=	* = + + n	٠.	(委員からの意見等)		
								算審査特別 特	すに	こなし		
								5意見等				

八代処理区維持管理事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 建設部長 市村 誠治

 所管課·係名
 下水道建設課 計画係

 課長名
 福田 新士

				川 吕 砵 -	1本10	1.	小坦廷政	林 引四	1ボ					
評価対象年度	平成26年度			課長名				福田	新士					
			(Plan)事務	事業の	計画									
					会計区	分	0	8 公共下2	k道事業	特別会計	F			
事務事業名	千丁処理区維持'	管理	!事業		款項目コード(詩	吹-項-目)	01	_	01	_	03 05 川氷川に 設置した			
事務事業名 千丁処 基本目標 施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ) 事務事業の目的 下水道施 事務事業の概要 (全体事業の内容) (全体事業の内容) 根拠法令、要綱等 下水道法 (大大) (大大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (事業コード(大-	-中-小)	83	_	15	_	05			
評価対象年度 平成26年度 課長名 福田 新士 (Plan) 事務事業の計画 会計区分 08 公共下水道事業特別会計														
	施策の大綱(節) 【政策】	1	うるおいのある快適なま	ちづくり		会計区分 08 公共下水道事業特別会計 コード(款-項-目) 01 — 01 — 03 ード(大-中-小) 83 — 15 — 05 域の水質保全を図る。 ハ代北部浄化センター(※2)にて浄化された後、2級河川氷川にかかる費用を負担金として支払うほか、マンホール内に設置した別査を行う。から排出される汚水を広域処理する県営下水道 第25条の二~第25条の十) 全部委託 法令による実施義務 0 1 義務である 2 義務ではない								
	施策の展開(項) 【施策	5	下水道の充実						 ×道事業特別会計 01 — 03 15 — 05 たされた後、2級河川氷川に、マンホール内に設置した 農営下水道 ● 1 義務である 2 義務ではない 					
	具体的な施策と内容	体的な施策と内容 3 下水道経営の健全化												
事務事業の目的	下水道施設(汚水)の維	持管理	里を行い、快適な生活環境の確	雀保と公 st	共用水域の水	質保全を	図る。							
事務事業の概要 (全体事業の内容)	放流されている。本事業 小型水中ポンプの維持 ※1 八代市(旧鏡町、旧	は、県 管理並 千丁	見営八代北部流域流域下水道(なびに流域下水道へ接続する流 町)、宇城市(旧小川町)、氷川	の維持管 流入水の 町(旧竜	理にかかる費 水質調査を行 北町)から排	費用を負担 う。	旦金として	支払うほか	、マンホ	ール内に				
根拠法令、要綱等	下水道法 第2章 公共	下水道	道(第3条~第25条) 第2章の2	流域下	水道(第25条	の二~第	第25条の十	·)						
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委託	ŧ	法令による	る実施義務	• 1	義務であ	<u></u> る			
(該当欄を選択)	その他()	(該当欄	を選択)	2	義務では	03 05 加氷川に 設置した			
事業期間	事業コード(大-中-小) 83 — 15 — 05 本目標(章) 3 安全で快適に暮らせるまち (策の大綱(節) [政策] 1 うるおいのある快適なまちづくり (策の展開(項) [施策] 5 下水道の充実 (体的な施策と内容 3 下水道経営の健全化 「水道施設(汚水)の維持管理を行い、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図る。 「丁町から排出される汚水は、県営八代北部流域下水道(※1)に流入し、八代北部浄化センター(※2)にて浄化された後、2級河川氷川に流されている。本事業は、県営八代北部流域流域下水道(※1)に流入し、八代北部浄化センター(※2)にて浄化された後、2級河川氷川に流されている。本事業は、県営八代北部流域流域下水道の維持管理にかかる費用を負担金として支払うほか、マンホール内に設置した型水中ポンプの維持管理並びに流域下水道へ接続する流入水の水質調査を行う。 「1 八代市(旧鏡町、旧千丁町)、宇城市(旧小川町)、氷川町(旧竜北町)から排出される汚水を広域処理する県営下水道・2 複数の市町村から排出された汚水を一括処理する県営汚水処理場 「水道法 第2章 公共下水道(第3条~第25条) 第2章の2 流域下水道(第25条の二~第25条の十) 全部直営 ● 一部委託 全部委託 法令による実施義務 ● 1 義務である													

事業開始時点からこれまでの状況変化等

事業費の95%を占める八代北部流域下水道維持管理負担金は、各処理分区の計画水量に応じて負担金を支払っているが、平成24年度に実施した第4期 経営計画及び負担金対象水量算定方法の見直しにより、負担金の単価が下がり、平成25年度は約440万円の削減となった。

スト丼	雠					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込
総	事業	美費		(単位:	千円)	51, 921	51, 302	51,328	0	0	0	0
	事	業費	(直接経費)	(単位:	千円)	51,921	47,452	47,128	0	0	0	0
		財	国県支出金			0	0	0	0	0	0	0
		源				0	0	0	0	0	0	0
		内訳		入金)		0	0	0	0	0	0	0
		机	一般財源(特別会計→事業収入)		51,921	47,452	47,128	0	0	0	0
			人件費			24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見込
		概	算人件費(正規職員)	(単位	千円)	-	3, 850	4,200	0	0	0	0
				[:人)	-	0. 55	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	
臨	時鵈	战員等	並 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(単位	[:人)	-	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事			指標名		単位	i \	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
業の	(1		営施設への流入汚水量		m³	計画	-	397152	430681	408800	414771	419248
の 活	L				111	実績	430286	432127	424051	-	-	ı
活 動	l _o	9				計画	_					
助量						実績				-	-	ı
!動指標 量・実績	(3					計画	-					-
						実績				ı	-	ı
の 数 値	〈 言	記述	闌〉※数値化できない場合		•		•			•		•
値												
化												

千丁処理区維持管理事業 Page 1 of 3

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	処理場の放流 基準:BOD(水 質基準:15mg/l 以下)	下水道への接続が進むと、河川へ流入する水質が改善されることが予想されるため指標に設定し	mg/l	計画	-	5	5	5	5	5
もたらそう	0		<i>t</i> = 。	IIIg∕ ≵	実績	1.4	1.1	1.1	-	-	-
そうとする	2				計画	-					
成果指標 ・とする効果・は					実績				l	ı	ı
成果の数値化	3				計画	-					
化	3				実績				-	-	1
	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								

			(C	heck)事務事業の	
				チェック	判断理由
	1	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	•	結びつく 一部結びつく	八代市総合計画に明記されている。
				結びつかない	
事業実施の		【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ	•	薄れていない	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全における下水道事 業の担う役割は大きい。。
妥当性	2	り、事業の役割が薄れていませんか		少し薄れている	
	╙			薄れている	T-1/7/4/= 10-7-1-1
		【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です	•	妥当である	下水道法に明記されている。
	3	か(国・県・民間と競合していません か)		あまり妥当でない	
		,		妥当でない	
		【事業の達成状況】	•	順調である	処理水質は放流水質基準を満足していることから成果目標は達成しているものと考える。
	1	成果目標の達成状況は順調に推移していますか		あまり順調ではない	
活動内容の		C0.29 %.		順調ではない	
有効性				見直しの余地はない	負担金については3年ごとに経営計画を見直し、負担金の基礎となる 維持管理負担金単価の検討を行っている。
	2		•	検討の余地あり	
		(成果をこれ以上伸はすことはできませんか)		見直すべき	
		【民間委託等】	をこれ以上伸ばすことはできま ハ) 【民間委託等】	できない	負担金支払事業が主であるが、マンホールポンプの保守点検業務に おいてもすでに業務委託を行っており、コスト削減を図っている。
	1	民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削		検討の余地あり	
		減することは可能ですか		可能である	
		【他事業との統合・連携】		できない	氷川町宮原地区の参入が現在検討されており、スケールメリットを生かしたコスト削減が見込める。
	2	目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可	•	検討の余地あり	
実施方法の		能ですか		可能である	
効率性		【人件費の見直し】	•	できない	必要最低限の人員である。
	3	現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件		検討の余地あり	
		費を削減することは可能ですか		可能である	
		【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、		見直しの余地はない	下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入 (下水道使用料・受益者負担金)により賄うのが原則であるが、収入
	4	受益者負担を見直す必要はあります	•	検討の余地あり	不足については一般会計からの繰入金により補填している状況であ
		か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)		見直しが必要である	り、受益者負担金の適正化が求められる。

 千丁処理区維持管理事業
 Page 2 of 3

(Action) 事務事業の方向性と改革改善 1 不要(廃止) (今後の方向性の理由) 現在、氷川町の宮原処理区について、八代北部流域下水道への編入(接続)が検討されており、流入水量の増加によるスケールメリットから維持管理負担金の削減が見込まれるため、協 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 議要請者である氷川町、県及び他の流域関連自治体である宇城市と協議を行っていく。 方向性 ● 4 市による実施(要改善) (該当欄を選択) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 本事業の大部分が県に納付する維持管理負担金であることから、管理者の県に対して、企業会計の導入、宮原処理区の編入も含めたコスト縮 改革改善内容 減策を強く求め、維持管理費の抑制を図っていく。 改革改善による期待成果 外部評価の実施 実施年度 コスト 有: 他の制度による外部評価 平成22年度 削減 維持 増加 H26進捗状況 改善進捗状況等 向上 H26取組内容 維持 低下 (委員からの意見等) 決算審査特別 特になし 委員会におけ る意見等

千丁処理区維持管理事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 建設部長 市村 誠治

 所管課・係名
 下水道建設課 計画係

 課長名
 福田 新士

評価対象年度	平成26年度			課長名				福田	新士		
			(Plan) 事務	事業の	計画						
					会計区	分	(08 公共下	水道事業	業特別会言	+
事務事業名	鏡処理区維持領	き理?	事業		款項目コード(款−項−目)	01	_	01	_	03
					事業コード(大・	-中-小)	83	_	15	_	07
	基本目標(章)	;	安全で快適に暮らせる	きち							
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政	策】	うるおいのある快適なま	ちづくり							
おける位置づけ)	施策の展開(項) 【施	策】	5 下水道の充実								
	具体的な施策と内容		け 快適な生活環境の確保	と公共用	水域の水質係	全					
事務事業の目的	下水道施設(汚水)の	維持管	管理を行い、快適な生活環境の研	雀保と公 き	共用水域の水	質保全を	図る。				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	放流されている。本事 小型水中ポンプの維 ※1 八代市(旧鏡町、	業は、 寺管理 旧千	、県営八代北部流域下水道(※ 県営八代北部流域流域下水道 並びに流域下水道へ接続する派 丁町)、宇城市(旧小川町)、氷川 された汚水を一括処理する県営	の維持管 充入水の 町(旧竜	理にかかる費 水質調査を行 (北町)から排	貴用を負担 う。	担金として	支払うほか	い、マンバ	トール内に	
根拠法令、要綱等	下水道法 第2章 公	共下水	(道(第3条~第25条) 第2章の2	2 流域下	水道(第25条	:の二~9	第25条の十	-)			
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委訂	ŧ		る実施義剤	务 ● 1	義務であ	<u></u> る
(該当欄を選択)	その他()	(該当村	闌を選択)	2	義務では	ない
事業期間	開始年度	-	合併前		終了年	度			未定		

事業開始時点からこれまでの状況変化等

事業費の95%を占める八代北部流域下水道維持管理負担金は、各処理区の計画水量に応じて負担金を支払っているが、平成24年度に実施した第4期経営計画及び負担金対象水量算定方法の見直しにより、負担金の単価が下がり、平成25年度は約700万円の削減となった。

スト推	移					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込
総事	業費	ŧ		(単位	:千円)	66, 108	63, 224	64,684	0	0	0	0
	事業	費(ī	直接経費)	(単位	:千円)	66,108	59,024	60,484	0			
		財	国県支出金			0	0	0	0			
		源	地方債			0	0	0	0			
		内訳	その他特定財源(特別会計→繰	入金)		0	0	0	0			
		訳	一般財源(特別会計→事業収入)		66,108	59,024	60,484	0			
			人件費			24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見達
		概算	人件費(正規職員)	(単位	:千円)	_	4, 200	4,200	0	0	0	0
		正規	職員従事者数	(単位	ኒ:人)	-	0. 60	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
臨民	持職員	等征	详事者数	(単位	江:人)	-	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事			指標名		単位	ī \	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業の	1)	県営	施設への流入汚水量		m³	計画	-	539654	563566	586676	607021	631429
の活	\odot					実績	488697	516519	556853	-	-	ı
.動	2					計画	-					
)活動量・実績	()					実績				-	-	ı
実	3					計画	-					
. <i></i>	9					実績				_	_	_

鏡処理区維持管理事業 Page 1 of 3

別記様式 (第5条関係)

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	放流水BOD 年間最大値 15mg/I以下	下水道法施行規則第4条の 2に15mg/I以下と定めら れている。	mg/l	計画	1	5	5	5	5	5
もたらそう	•			IIIg/ I	実績	1.4	1.1	1.1	ı	ı	-
そうとす	2				計画	ı					
成果指標 ・とする効果・は					実績				-	-	-
成果の数値化	3				計画	-					
化	3				実績				-	-	-

〈記述欄〉※数値化できない場合

※BOD(生物化学的酸素要求量):水中の有機物などの量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したもの。BODの値が大きいほど、その水質は悪いと言える。放流水質基準。

•					
			(C	heck)事務事業のI	
		着眼点		チェック	判断理由
	1	「市民ニーズ等の状況」 まRニーズ等の状況		結びつく 一部結びつく 結びつかない	八代市総合計画に明記されている。
事業実施の 妥当性	2			薄れていない 少し薄れている 薄れている	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全における下水道事業の担う役割は大きい。
	3	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です か(国・県・民間と競合していません か)		妥当である あまり妥当でない 妥当でない	下水道法に明記されている。
活動内容の	1	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	•	順調である あまり順調ではない 順調ではない	処理水質は放流水質基準を満足していることから成果目標は達成しているものと考える。
有効性	2	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を 見直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできま せんか)	•	見直しの余地はない 検討の余地あり 見直すべき	負担金については3年ごとに経営計画を見直し、負担金の基礎となる 維持管理負担金単価の検討を行っている。
	1	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	•	できない 検討の余地あり 可能である	負担金支払事業が主であるが、マンホールポンプの保守点検業務に おいてもすでに業務委託を行っており、コスト削減を図っている。
実施方法の	2	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	•	できない 検討の余地あり 可能である	氷川町宮原地区の参入が現在検討されており、スケールメリットを生かしたコスト削減が見込める。
効率性	3	【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等 による対応その他の方法により、人件 費を削減することは可能ですか		できない 検討の余地あり 可能である	必要最低限の人員である。
	4	「受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、 受益者負担を見直す必要はあります か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)		見直しの余地はない 検討の余地あり 見直しが必要である	下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入 (下水道使用料・受益者負担金)により賄うのが原則であるが、収入 不足については一般会計からの繰入金により補填している状況であ り、受益者負担金の適正化が求められる。

鏡処理区維持管理事業 Page 2 of 3

(Action) 事務事業の方向性と改革改善 1 不要(廃止) (今後の方向性の理由) 現在、氷川町の宮原処理区について、八代北部流域下水道への編入(接続)が検討されており、流入水量の増加によるスケールメリットから維持管理負担金の削減が見込まれるため、協 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 議要請者である氷川町、県及び他の流域関連自治体である宇城市と協議を行っていく。 方向性 ● 4 市による実施(要改善) (該当欄を選択) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 本事業の大部分が県に納付する維持管理負担金であることから、管理者の県に対して、企業会計の導入、宮原処理区の編入も含めたコスト縮 改革改善内容 減策を強く求め、維持管理費の抑制を図っていく。 改革改善による期待成果 外部評価の実施 実施年度 コスト 有: 他の制度による外部評価 平成22年度 削減 維持 増加 H26進捗状況 改善進捗状況等 向上 H26取組内容 維持 低下 (委員からの意見等) 決算審査特別 特になし 委員会におけ る意見等

鏡処理区維持管理事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 建設部長 市村 誠治

 所管課·係名
 下水道建設課 計画係

 課長名
 福田 新士

評価対象年度 平成26年度 課長名 福田 新士 (Plan) 事務事業の計画	±						
(Plan) 事務事業の計画							
会計区分 08 公共下水道事	事業特別会計						
事務事業名 八代処理区幹線工事及び管渠布設事業	1 — 04						
事業コード(大一中一小) 83 — 15	5 — 02						
基本目標(章) 安全で快適に暮らせるまち							
施策の体系 (八代市総合計画に 施策の大綱(節)【政策】 1 うるおいのある快適なまちづくり							
おける位置づけ) 施策の展開(項) 【施策】 5 下水道の充実							
具体的な施策と内容 1 快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全							
事務事業の目的 既成市街地及びその周辺地域において汚水管渠の整備を行うことで快適な生活環境の確保と公共水域の水質保全を 既成市街地及びその周辺地域において雨水管渠の整備を行うことで雨水の排除を行い浸水被害の軽減を図る。	≧を図る。						
本共下水道を整備する区域(八代処理区・八代東部処理区・千丁処理分区・鏡処理分区)のうち、八代処理区及び八代る下水道の幹線管渠およびその他の管渠を整備する。 ※下水道管渠の種類 ・汚水管渠(し尿や生活雑排水を排除する管渠) 幹線管渠、その他の管渠 ・雨水管渠(雨水を排除する管渠) 幹線管渠、その他の管渠	代東部処理区におけ						
処法令、要綱等 下水道法 第2章 公共下水道(第3条~第25条)							
実施手法 全部直営 一部委託 全部委託 法令による実施義務 ●	1 義務である						
(該当欄を選択) ● その他(工事請負) (該当欄を選択)	2 義務ではない						
事業期間 開始年度 合併前 終了年度 未定	定						

(Do)事務哥	(Do) 事務事業の実施							
評価対象年度の事業の内容								
対象 (誰・何を) ・汚水の垂れ流しにより起きる生活環境及び公共用水域 (海や川)の水質の悪化。 ・大雨時の浸水被害。 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) ・住民の快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全。 ・浸水被害の軽減。	内容 (手段、方法等) 家庭から排出される汚水または雨水を排除することができるよう、道路等に下水道管渠を埋設する工事を行う。 (事業概要) 整備箇所: 八千把(古閑中町)・松高(松崎・永碇町)・太田郷(西片・中片・上片町)・宮地(西宮町)地区 整備延長: L=4.66km(汚水のみ) 整備延長: A=21.67ha(汚水のみ) 整備面積: A=21.67ha(汚水のみ) (事業費)442,991千円 (補助対象事業費)367,176千円 (財源)国県補助金 183,588千円 社会資本整備総合交付金(国1/2)、起債 236,700千円 下水道事業債(100%)等							
事業問始時占かにこれ								

事業開始時点からこれまでの状況変化等

八代市における公共下水道事業八代処理区は昭和48年に事業認可を得て、事業開始当初は中心市街地周辺の雨水整備に着手し、昭和53年からは汚水整備に着手、昭和59年度に供用開始した。その後、中心市街地から放射状に整備を推進し、平成18年度には新八代駅周辺の下水道整備が急務となったことから、新駅周辺を八代東部処理区として認可を得て整備を行った。現在、1,473.6haの事業認可区域において事業を推進している。

マト推	移					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見
総事	総事業費 (単位:千円)				716, 485	681, 375	480,441	0	0	0	0	
	事業	(費	直接経費)	(単位:	:千円)	716,485	629,925	442,991	0	0		
			国県支出金			318,761	271,078	183,588	0			
		源	地方債			360,000	325,000	236,700	0	0		
		内訳	その他特定財源(特別会計-	·繰入金)		4,132	28	33	0			
			一般財源(特別会計→事業収	(人)		33,592	33,819	22,670	0	0		
	人件費					24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見
		概算人件費(正規職員) (単位:千円)				1	51, 450	37,450	0	0	0	0
	正規職員従事者数 (単位:人)				1	7. 35	5.35	0.00	0.00	0.00	0.00	
臨時	持職 員	争	従事者数	(単位	ī:人)	ı	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
車			指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業の			^找 処理区及び八代東部処理区 ≩備面積	おける下水	ha	計画	ı	1183.8	1204	1221.8	1231.8	1241.8
の活	Θ	坦亞	到用 山 恨		IIa	実績	1145.4	1183.2	1204.9	ı	_	1
F 動			大処理区及び八代東部処理区		%	計画	ı	44.6	45.2	45.8	46.2	46.6
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			ff及率(人口比) ※当該地区の 、ロ÷人口)	70	実績	43.6	44.5	46.2	ı	-	-
実	3		大市全体における下水道普及2		%	計画	ı	44.4	45.2	46	46.7	47.4
	_		∇水道普及人口(八代+八代東; 〒総人口	功+〒 」+蜆ノ	70	実績	43.4	44.3	46.1	-	-	-
の 数	〈記:	述欄	〉※数値化できない場合									
値												

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	八代処理区及 び八代東部処 理区おける下水 道普及人口 家の前の下水道整備が完 了しており、下水道に接 続することができる人口			計画	-	44885	45303	45672	45879	46086
もたら	Θ			<	実績	44089	44723	45685	ı	1	1
たらそうとする	2	ける下水道普及	家の前の下水道整備が完 了しており、下水道に接 続することができる人口	ا	計画	-	58685	59444	60155	60806	61458
成果指標 ・とする効果・成	J)				実績	57579	58449	59714	-	-	-
成果の数値化	3				計画	-					
化	9				実績				-	-	-
	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								

			(C	heck)事務事業の自	自己評価
		着眼点		チェック	判断理由
		【計画上の位置付け】	•	結びつく	八代市総合計画に明記してある。
	1	事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか		一部結びつく	
				結びつかない	
		【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ	•	薄れていない	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全における下水道事業の担う役割は大きい。時に最近は汚水だけでなく、大雨時の雨水
事業実施の 妥当性	2	市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか		少し薄れている	浸水対策も重要な課題となっている。
				薄れている	
		【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です	•	妥当である	下水道法に明記してある。
	3	か(国・県・民間と競合していません		あまり妥当でない	
		か)		妥当でない	
		【事業の達成状況】		順調である	事業認可区域内の整備については、平成29年度までに完了を予定しているが、今後汚水や雨水施設の改築更新やゲリラ豪雨対策に多額
	1	成果目標の達成状況は順調に推移していますか	•	あまり順調ではない	の費用が必要となり、新規の汚水整備については制御を余儀なくされている
活動内容の				順調ではない	
有効性		【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を		見直しの余地はない	平成26年1月に国土交通省、農林水産省、環境省の3省合意により、 今後10年程度を目処に地域特性を踏まえ汚水処理の整備を概ね完
	2	見直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできま	•	検討の余地あり	了する旨の通達が出された。このことにより、本市においても今後の 公共下水道における汚水処理整備の見直しが必要となる。
		せんか)		見直すべき	
		【民間委託等】	•	できない	事務事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総合知識が必要であるため、民間委託業者では円滑な事務の執行が
	1	民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削		検討の余地あり	行えない。
		減することは可能ですか		可能である	
		【他事業との統合・連携】		できない	上水道事業者等との協議・連携のもと各種管渠の同時埋設や汚水処理施設整備おいて、コスト削減を図っている。さらに、区画・街路事業
	2	目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可		検討の余地あり	との連携によりコスト縮減が可能である。また上述の「10年概成」の通達により、合併浄化槽等による汚水処理を含め抜本的な検討見直し
実施方法の		能ですか	•	可能である	が必要。
効率性		【人件費の見直し】	•	できない	事務事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総 合知識が必要であるため、非常勤職員では円滑な事務の執行が行
	3	現状の成果を下げずに非常勤職員等 による対応その他の方法により、人件 費を削減することは可能ですか		検討の余地あり	えない。
				可能である	
		【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、	•	見直しの余地はない	下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入 (下水道使用料・受益者負担金)により賄うのが原則であるが、受益者
	4			検討の余地あり	負担金については、その公平性により見直しの余地はない。
		上)		見直しが必要である	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善 1 不要(廃止) (今後の方向性の理由) 税収の減少や交付税の削減など本市の財政状況は厳しさを増しており、また、一般会計からの 2 民間実施 繰入金の削減も想定されることから、事業内容の見直しを含め、下水道事業の健全化に努めなければならない。また前述の「10年概成」の通達により、合併浄化槽等による汚水処理を含め抜 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 方向性 本的な検討見直しが必要。 ● 4 市による実施(要改善) (該当欄を選択) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 平成27年度から下水道事業に企業会計方式を導入することで、下水道事業の経営状況を正しく理解し、今後の事業方針、経営計画の策定に **改革改善内容** 取り組んでいく。また、「10年概成」により、公共下水道、合併浄化槽、農業集落排水などによる本市の汚水処理計画の見直しを行う予定であ 改革改善による期待成果

		コスト							
		削減	維持	増加					
	向上								
成 果	維持	•							
	低下								

外	部評価の実施	無	実施年度	
짱	H26進捗状況			
改善進捗状況等	H26取組内容			

	(委員からの意見等)
決算審査特別委員会におけ	特になし
る意見等	

事務事業評価票

 所管部長等名
 建設部長 市村 誠治

 所管課・係名
 下水道建設課 計画係

 課長名
 福田 新士

				川 吕 琳 -	ホ1	1.7	心坦廷政司	木 引回1	不			
評価対象年度	平成26年度			課長名	長名 福田 新士							
		(Plan)事務	事業の	業の計画								
				会計区	分	C	08 公共下水道事業特別会計					
事務事業名	千丁処理区幹線		款項目コード(表	炊−項−目)	01	_	01	_	04			
			事業コード(大-	-中-小)	83	_	15	_	06			
	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせる	きち								
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策	₹】1	うるおいのある快適なま	ちづくり								
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策	施策】 5 下水道の充実										
	具体的な施策と内容	1	快適な生活環境の確保	と公共用	水域の水質係	全						
事務事業の目的		各家庭からの生活排水等の汚水を下水道で速やかに排除処理することから、住宅周辺の環境が改善され、トイレの水洗化等により清潔で 快適な生活に寄与するとともに、河川など公共用水域の水質の改善を図る。										
事務事業の概要 (全体事業の内容)	およびその他の管渠を 市(旧鏡町・旧千丁町) を県が整備し、流域幹 ※下水道管渠の種類	整備す 、宇城 線に接	八代処理区・八代東部処理区 「る。干丁処理区と鏡処理区に 市(旧小川町)、氷川町(旧竜は続する管渠等を市が整備する 「水を排除する管渠)	おいては 比町)の戊 。	八代北部流域 域にて行う下	找関連公 水道事	共下水道引	事業として 男	実施して	おり、これ	は八代	
根拠法令、要綱等	下水道法 第2章 公共下水道(第3条~第25条)											
実施手法	全部直営		一部委託		全部委託	ŧ	法令によ	る実施義務	§ • 1	義務であ	る	
(該当欄を選択)	● その他(工事請負)	(該当欄	縁を選択)	2	義務では	ない	
事業期間	開始年度		合併前		終了年	度			未定			

(Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容							
対象 (誰・何を) 汚水の垂れ流しにより起きる生活環境及び公共用水域(海や川)の水質の悪 化	内容 (手段、方法等) 家庭から排出される汚水を排除することができるよう、道路等に下水道管渠を 埋設する工事を行うものです。 (事業概要)						
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 各家庭からの生活排水等の汚水を下水道で速やかに排除処理することから、住宅周辺の環境が改善され、トイレの水洗化等により清潔で快適な生活ができるとともに、河川など公共用水域の水質保全に寄与する。	整備箇所:千丁町(西牟田)地区整備延長:L=0.50km整備面積:A=1.49ha (事業費)45.678千円 (補助対象事業費)30,332千円 (財源)国県補助金 15.166千円 社会資本整備総合交付金(国1/2)、起債28.400千円 下水道事業債(100%)等						

事業開始時点からこれまでの状況変化等

八代北部流域関連公共下水道として平成7年度に全体計画(計画処理面積177ha、計画人口7,700人)策定を行い、50haを事業区域として認可を得、事業に 着手した。平成12年度には新たに86haの区域拡張し、平成14年に一部供用を開始した。更に平成19年度と平成26年度に全体計画・認可区域変更を行い、 現在、計画処理面積220ha、計画人口5,600人の全体計画のうち209haを事業区域として事業推進している。

コスト	推移				2	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込
総	8事業	美費		(単位:千円)	137, 987	68, 576	50,928	0	0	0	0
	事	業費	(直接経費)	(単位:千円)	137,987	57,026	45,678	0	0	0	0
			国県支出金			61,480	21,189	15,166	0	0	0	0
		財源	地方債			61,400	30,157	28,400	0	0	0	0
		内訳	その他特定財源(特別会計→繰入	金)		0	0	0	0	0	0	0
		九	一般財源(特別会計→事業収入)			15,107	5,680	2,112	0	0	0	0
	人件費						25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見込
		概	算人件費(正規職員)	(単位:千円)	-	11, 550	5,250	0	0	0	0
		正	規職員従事者数	(単位:人)		-	1. 65	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00
点	臨時職員等従事者数 (単位:人)					-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
重	Ę.		指標名	単	单位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業			丁処理区における下水道整備面積		na	計画	-	157.7	158.5	160.5	164.2	166.7
σ. 注	2 4	ע			ıa	実績	154.6	157.7	159.2	-	-	-
活動			-丁処理区」における下水道普及率(%	計画	-	82.5	82.9	84	85.9	87.2
動量		S) [EL.)※下水道普及人口(千丁)÷人口(·	+1)	70	実績	80.5	82.5	83.4	-	-	-
「動指標			(代市全体」における下水道普及率(n.c	計画	-	44.4	45.2	46	46.7	47.4
標行)※下水道普及人口(八代+八代東) +鏡)÷市総人口	八代東部+千 %		実績	43.4	44.3	46.1	-	-	-
数	/-		闌〉※数値化できない場合									
僱												

化

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	ける下水道供用	家の前の下水道整備が完 了しており、下水道に接 続することができる人 口。	,	計画	-	5879	5913	5985	6075	6212
もたら)			<	実績	5790	5879	5922	ı	-	ı
たらそうとする		る下水道普及人 口	家の前の下水道整備が完 了しており、下水道に接 続することができる人 口。	ا	計画	ı	58685	59444	60155	60806	61458
成果指標 ・とする効果・成				~	実績	57579	58449	59714	ı	-	ı
成果の数値化					計画	-					
	9				実績				-	-	-
	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								

		(Check) 事務事業の	白己評価
		チェック	判断理由
	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	● 結びつく 一部結びつく 結びつかない	八代市総合計画に明記している。
事業実施の 妥当性	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	薄れていない少し薄れている薄れている	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全における下水道事業の担う役割は大きい。時に最近は汚水だけでなく、大雨時の雨水浸水対策も重要な課題となっている。。
	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です か(国・県・民間と競合していません か)	● 妥当である あまり妥当でない 妥当でない	下水道法に明記してある。
活動内容の	【事業の達成状況】 ① 成果目標の達成状況は順調に推移していますか	順調である ● あまり順調ではない 順調ではない	下水道財政状況の懸念から事業費の縮減が図られているが、反面では進捗状況が伸びていない状況にあり、計画の遅れがある。
有効性	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を ② 見直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできませんか)	見直しの余地はない ● 検討の余地あり 見直すべき	人口減少や少子高齢化、節水型家電の普及が進むなか、国が下水道における厳しい社会情勢を鑑み、今後10年で汚水処理施設の整備を概ね完了させる旨の方針を示しており、本市においても下水道事業内容の見直しを検討している
	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	● できない 検討の余地あり 可能である	事務事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総合知識が必要であるため、民間委託業者では円滑な事務の執行が行えないと思われる。
実施方法の	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	できない ● 検討の余地あり 可能である	上水道事業者等との協議・連携のもと各種管渠の同時埋設や汚水処理施設整備において、コスト縮減を図っているものの、上述の「10年概成」の通達により、合併浄化槽等による汚水処理を含め抜本的な検討見直しが必要。
効率性	【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等 による対応その他の方法により、人件 費を削減することは可能ですか	● できない 検討の余地あり 可能である	事務事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総合知識が必要であるため、非常勤職員では円滑な事務の執行が行えないと思われる。
	【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、 受益者負担を見直す必要はあります か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	● 見直しの余地はない 検討の余地あり 見直しが必要である	下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入 (下水道使用料・受益者負担金)により賄うのが原則であるが、受益者 負担金についてはその公平性により見直しの余地はない。

別記様式 (第5条関係) (Action) 事務事業の方向性と改革改善 1 不要(廃止) (今後の方向性の理由) 税収の減少や交付税の削減など本市の財政状況は厳しさを増しており、また、一般会計からの 繰入金の削減も想定されることから、事業内容の見直しを含め、下水道事業の健全化に努めな ければならない。また前述の「10年概成」の通達により、合併浄化槽等による汚水処理を含め抜 2 民間実施 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 方向性 本的な検討見直しが必要。 ● 4 市による実施(要改善) (該当欄を選択) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 平成27年度から下水道事業に企業会計方式を導入することで、下水道事業の経営状況を正しく理解し、今後の事業方針、経営計画の策定に取り組んでいく。また、「10年概成」により、公共下水道、合併浄化槽、農業集落排水などによる本市の汚水処理計画の見直しを行う予定であ 改革改善内容

	改革改善による期待成果										
	/		コスト								
		削減	維持	増加							
	白										
成 果	維持	•									
	低下										

外	部評価の実施	有 : 他の制度による外部評価	実施年度 平成22年度			
改	H26進捗状況					
一善進捗状況等	H26取組内容					

	(委員からの意見等)
決算審査特別 委員会におけ	特になし
る意見等	

事務事業評価票

 所管部長等名
 建設部長
 市村
 誠治

 所管課・係名
 下水道建設課
 計画係

 課長名
 福田
 新士

			17		IK 1	- 1	小炬烂的		4 1/15			
評価対象年度	平成26年度		詩	果長名				福田	新士			
			(Plan) 事務事	業の調	計画							
					会計区	分	08 公共下水道事業特別会計					
事務事業名	鏡処理区幹線工	び管渠布設事業		款項目コード(詩	次-項-目)	01	_	01	_	04		
					事業コード(大一中一小)		83	_	15	_	80	
	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるまち	5								
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策	₹】 1	うるおいのある快適なまち	づくり							,	
おける位置づけ)	施策の展開(項) 【施第	5 5	下水道の充実									
	具体的な施策と内容	1	快適な生活環境の確保と	公共用	水域の水質係	全						
事務事業の目的		いらの生活排水等の汚水を下水道で速やかに排除処理することから、住宅周辺の環境が改善され、トイレの水洗化等により清潔で E活に寄与するとともに、河川など公共用水域の水質の改善を図る。										
公共下水道を整備する区域(八代処理区・八代東部処理区・千丁処理分区・鏡処理分区)のうち、鏡処理区における下水道の幹線よびその他の管渠を整備する。千丁処理区と鏡処理区においては八代北部流域関連公共下水道事業として実施しており、これは、(旧鏡町・旧千丁町)、宇城市(旧小川町)、氷川町(旧竜北町)の広域にて行う下水道事業で、流域幹線管渠及び主要施設(処理場所を備し、流域幹線に接続する管渠等を市が整備する。※下水道管渠の種類・汚水管渠(し尿や生活雑排水を排除する管渠)						八代市						
根拠法令、要綱等	下水道法 第2章 公共	下水泊	直(第3条~第25条)									
実施手法	全部直営		一部委託		全部委託	ŧ	法令による	る実施義務	• 1	義務であ	<u></u> る	
(該当欄を選択)	● その他(工事請負)	(該当欄	を選択)	2	義務では	ない	
事業期間	開始年度		合併前		終了年	度			未定	•		

(Do) 事務事業の実施										
評価対象年度の	り事業の内容									
対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)									
汚水の垂れ流しにより起きる生活環境及び公共用水域(海や川)の水質の悪化	家庭から排出される汚水を排除することができるよう、道路等に下水道管渠を 埋設する工事を行うものです。 (事業概要)									
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 各家庭からの生活排水等の汚水を下水道で速やかに排除処理することから、住宅周辺の環境が改善され、トイレの水洗化等により清潔で快適な生活ができるとともに、河川など公共用水域の水質保全に寄与する。	整備箇所:鏡(内田)·有佐(下村)地区整備延長:L=1.08km整備面積:A=4.9ha (事業費)113,266千円 (補助対象事業費)88,912千円 (財源)国庫補助金 44,456千円 社会資本整備総合交付金(国1/2)、起債61,400千円 下水道事業債(100%) 等									

事業開始時点からこれまでの状況変化等

八代北部流域関連公共下水道として平成7年度に全体計画(計画処理面積415ha、計画人口19000人)策定を行い、50haを事業区域として認可を得、事業に 着手した。平成10年度に99ha、平成12年度に2ha区域拡張を図り、平成14年に一部供用を開始した。さらに平成15年度に35ha、平成19年度に102ha、平成 26年度に57.5haの区域拡張を図り、現在、計画処理面積412ha、計画人口10,000人の全体計画のうち345.5haを事業区域として推進している。

コスト推	移					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込
総	事業	費		(単位:	千円)	177, 107	123, 588	123,766	0	0	0	0
	事	業費((直接経費)	(単位:	千円)	177,107	113,088	113,266	0	0	0	0
	国県支出金 財 源 地方債				72,227	42,648	44,456	0	0	0	0	
					102,600	60,561	61,400	0	0	0	0	
		内訳	その他特定財源(特別会計→網	桑入金)		0	0	0	0	0	0	0
			一般財源(特別会計→事業収入)			2,280	9,879	7,410	0	0	0	0
	人件費				24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見込	
	概算人件費(正規職員) (単位:千円)				-	10, 500	10,500	0	0	0	0	
	正規職員従事者数 (単位:人)				-	1.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	
臨	诗職	員等	従事者数	(単位	::人)	-	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事			指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事 業	(1)	鏡魚	型理区における下水道整備面積		ha	計画	ı	224.4	230	237	244	251
の 活					IIa	実績	220.8	224.4	229.3	-	-	ı
活動	(2)		□理区における下水道普及率(人 ビネ ポスド ト ロ (徐):	、口比)※	%	計画	1	50.7	52.5	53.5	55.2	57
活動		1 67	k道普及人口(鏡)÷人口(鏡)		70	実績	50.2	51.1	53.1	-	-	-
指 実 績			大市全体における下水道普及率 5水道並み1月(ハゲール代車)		%	計画	-	44.4	45.2	46	46.7	47.4
保積の	19		F水道普及人口(八代+八代東語 意)÷市総人口	10十十]	70	実績	43.4	44.3	46.1	-	-	-
数値	〈記	己述欄	〉※数値化できない場合									

化

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	る下水道供用人 ロ	家の前の下水道整備が完 了しており、下水道に接 続することができる人口	人	計画	ı	7847	8055	8200	8400	8600
もたら				<	実績	7700	7847	8107	ı	-	-
たらそうとす	2	る下水道普及人	家の前の下水道整備が完了しており、下水道に接続することができる人口	, ,	計画	ı	58685	59444	60155	60806	61458
成果指標 ・とする効果・は				<	実績	57579	58449	59714	ı	_	ı
成果の数値化					計画	ı					
化	3				実績				-	-	-
	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								

日本二人で村位大沢沢の変化により、事業の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本のでは、 大画時の画水 次当である 本のでは、 大画時の画水 次当である 本のでは、 大画時の画水 次当である 本の地域状況は順調に推移していますか 「成果目標の達成状況は順調に推移していますか 「成果を向上させるため、事業内容を 見直すべき 見直り深かいりますか 「成果を向上させるため、事実内容を 見直しの余地はない 「成果を向上させるため、事実内容を 見直すべき 見直すべき 見直すべき 見直すべき 長間委託・指定管理者制度の導入などより、 成果をに対している。 「大田・東上・東藤主・大田・東上・大田・東田・東上・大田・東田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・大田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田								
計画上の位置付け			at an L	(C				
		_	看眼点 		チェック			
事業実施の 要当性 「市民ニーズ等の状況」 「市民ニーズ等の状況」 「市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか 「市が関与する必要性」 市が事業主体であることは変当です かかい。「果し間と競合していませんか 「悪素の達成状況」 「成果目標の達成状況は順調に推移していませんか」 「国業内容の見直し」 成果を向上させるため、事業内容を 見直す余地はありますか 「反連をこれ以上伸ばすことはできませんか」 「民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 民間を統合、事業との表の地域が表しますが、成果をこれ以上伸ばすことはできませんか」 「民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 民間委託等」 の統合・連携によりコストを削減することは可能ですか 「使事業との統合・連携によりコストを削減することは可能ですか 「表別の余地あり」 対象を性 「人件費の見直し」 現状の成果を下げずに非常動職員等による所なの根果を下げずに非常動職員等による所なの根果を下げずに非常動職員等による所なるのに表により、体費の完成と表に対し、表別の表しまの表の表し、と認の近10年 検討の余地あり 可能である 「受益の統合・連携によりコストの削減は可能である」 「大件費の見直し」 複対の余地あり 可能である 「できない 検討の余地あり 可能である 「できない」 検討の余地あり 可能である 「できない」 検討の余地あり 可能である 「できない」 検討の余地あり 可能である 「できない」 検討の余地あり 可能である 「表別状況を図っているものの、上述の10年を分別を関係しているもの。上述の10年を分別を対しているを分別を対しているとの統合・連携によりコストの削減は可能である 「表別状況の通達により、これの表別を関係しているものの、上述の10年を検討見直しが必要。 「人件費の見直し」 現状の成果を下げずに非常動職員等によりなその他の方法により、人件費を削減することは可能ですか 「人性である」 「大学を制減することは可能ですか 「表別れるの根別での表別により、大学を制強を関する総合知識が必要であるため、非常動職員では日常な事務の執行が行えないと思われる 「受益のよりにより関連の他にも行政運営に関する総合知識が必要であるため、非常動職員では日常な事務の執行が行えないと思われる 「受益の情報である」 「大学・関域のの通達により、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、				•	結びつく	八代市総合計画に明記している。		
事業実施の 要当性 「(市民ニーズ等の状況) 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか の		1			一部結びつく			
日本二人で村位大沢沢の変化により、事業の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本の役割が薄れていませんか 本のでは、 大画時の画水 次当である 本のでは、 大画時の画水 次当である 本のでは、 大画時の画水 次当である 本の地域状況は順調に推移していますか 「成果目標の達成状況は順調に推移していますか 「成果を向上させるため、事業内容を 見直すべき 見直り深かいりますか 「成果を向上させるため、事実内容を 見直しの余地はない 「成果を向上させるため、事実内容を 見直すべき 見直すべき 見直すべき 見直すべき 長間委託・指定管理者制度の導入などより、 成果をに対している。 「大田・東上・東藤主・大田・東上・大田・東田・東上・大田・東田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・東上・大田・大田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田・東田					結びつかない			
# 実施方法の			【市民ニーズ等の状況】	•	薄れていない	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全における下水道事業の担急の製は大きい、時に最近は活水だけでなく、大声時の声水		
「市が関与する必要性」		2			少し薄れている			
### (ままれであることは妥当です か ()	X J II		アイスの反引の 持っているといい		薄れている			
お、(国・県・民間と競合していませんか) 要当でない 要当でない 要当でない 要当でない 要当でない 要素認可区域については、認可済区域の整備が平成29年度までかる見込みであるが、県及び関連市町との歩調を合わせる必要性から平成26年度において区域拡大を行っており、計画より遅れているも、				•	妥当である	下水道法に明記してある。		
不力性		3	か(国・県・民間と競合していません		あまり妥当でない			
「「事業の達成状況」 成果目標の達成状況は順調に推移していますか			か)		妥当でない			
			「東業の法式は四】		順調である			
「活動内容の		1	成果目標の達成状況は順調に推移し	•	あまり順調ではない	ら平成26年度において区域拡大を行っており、計画より遅れている状		
② 良直す余地はありますか (成果を向上させるため、事業内容を ② 良直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできませんか) 【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか 【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか 【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか 【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか 【受益者負担の適正化】 事務事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総合知識が必要であるため、民間委託業者では円滑な事務の執行が行えないと思われる できない 検討の余地あり 可能である 「人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか 【受益者負担の適正化】 事務事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総検討見直しが必要。 「本語の余地あり可能である」 「本語の余地あり可能である」 「本語の余地あり可能である」 「本語の余地あり可能である」 「本語の余地はない検討の余地あり可能である」 「本語の余地はない検討の余地あり可能である」 「本語の余地はないを表表で、受益者負担を見直す必要はあります、人件費が必要であるため、非常勤職員では円滑な事務の執行が行えないと思われる 「本語の余地はない、検討の余地あり可能である」 「本語の余地はない、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入で、水道使用料・受益者負担金により見直しの余地はない。人件費がで、大部道・大部では、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入で、水道使用料・受益者負担金により見直しの余地はない。人質担金についてはその公平性により見直しの余地はない。	活動内容の		ていますか		順調ではない	況である		
② 見直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできませんか) 見直すべき 見直すべき 集内容の見直しを検討している 業内容の見直しを検討している ま務事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総合知識が必要であるため、民間委託業者では円滑な事務の執行が行えないと思われる できない 検討の余地あり 可能である できない 性対の成果を下げずにコストを削減することは可能ですか できない 大きない 理施設整備において、コスト縮減を図っているものの、上述の「10年概成」の通達により、合併浄化槽等による汚水処理を含め抜本的な できない 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか できない 検討の余地あり 可能である できない 大きない 大きなりによる対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか できない 検討の余地あり 可能である 下水道事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総 を概な」の通達により、合併浄化槽等による汚水処理を含め抜本的な 検討見直しが必要。 事務事業の執行に関しては専門知識の他にも行政運営に関する総 合知識が必要であるため、非常勤職員では円滑な事務の執行が行えないと思われる 下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入で、水道使用料・受益者負担金)により賄うのが原則であるが、受益者負担金見直す必要はあります か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃	有効性				見直しの余地はない			
「民間委託等] 「民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか 「他事業との統合・連携] 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか 「人件費の見直し」現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか 「人件費の見直し」現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか 「受益者負担の適正化」事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はありますか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃		2	見直す余地はありますか	•	検討の余地あり	を概ね完了させる旨の方針を示しており、本市においても下水道事		
大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きない 大きないと思われる 大きない					見直すべき	業内容の見直しを検討している 		
(国会託、預定管理名制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか) できない			民間委託、指定管理者制度の導入な	•	できない			
減することは可能ですか		1			検討の余地あり			
実施方法の 対本性 担当業との統合・連携 世施設整備において、コスト縮減を図っているものの、上述の「10年 機計の余地あり できない 現状の成果を下げずに非常勤職員等 による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか 「受益者負担の適正化」 事務事業の目的や成果から考えて、 受益者負担を見直す必要はあります					可能である			
実施方法の 効率性 (人件費の見直し) 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか (大件費を削減することは可能ですか) (大学型・大学型・大学型・大学型・大学型・大学型・大学型・大学型・大学型・大学型・					できない	上水道事業者等との協議・連携のもと各種管渠の同時埋設や汚水処理ない数様において、コスト統領を図っているものの、上述の「10年		
実施方法の 効率性 【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか 【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はありますか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃		2		•	検討の余地あり	概成」の通達により、合併浄化槽等による汚水処理を含め抜本的な		
は、	実施方法の				可能である	横討見直しが必要。		
(こよる対応その他の方法により、人件 費を削減することは可能ですか 可能である 「受益者負担の適正化」事務事業の目的や成果から考えて、 受益者負担を見直す必要はあります か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃	効率性			_	できない			
費を削減することは可能ですか 可能である 「受益者負担の適正化」 ● 見直しの余地はない 下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収力 「下水道使用料・受益者負担金)により賄うのが原則であるが、受益者 負担を見直す必要はあります からし上げ・引下げ・新たな負担・廃 検討の余地あり 負担金についてはその公平性により見直しの余地はない。		3			検討の余地あり			
事務事業の目的や成果から考えて、 ④ 受益者負担を見直す必要はあります。 か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃					可能である			
④ 受益者負担を見直す必要はあります 検討の余地あり 負担金についてはその公平性により見直しの余地はない。 からし上げ・引下げ・新たな負担・廃				•	見直しの余地はない	下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入(下水道使用料・受益者負担金)により贈うのが原則であるが、受益者		
か(引上げ・引) が、対たな負担・廃		4	受益者負担を見直す必要はあります		検討の余地あり			
Line Line					見直しが必要である			

別記様式 (第5条関係) (Action) 事務事業の方向性と改革改善 1 不要(廃止) (今後の方向性の理由) 税収の減少や交付税の削減など本市の財政状況は厳しさを増しており、また、一般会計からの 2 民間実施 繰入金の削減も想定されることから、事業内容の見直しを含め、下水道事業の健全化に努めなければならない。また前述の「10年概成」の通達により、合併浄化槽等による汚水処理を含め抜 今後の 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 方向性 本的な検討見直しが必要。 ● 4 市による実施(要改善) (該当欄を選択) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充) 今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 平成27年度から下水道事業に企業会計方式を導入することで、下水道事業の経営状況を正しく理解し、今後の事業方針、経営計画の策定に **改革改善内容** 取り組んでいく。また、「10年概成」により、公共下水道、合併浄化槽、農業集落排水などによる本市の汚水処理計画の見直しを行う予定であ

収单は	【昔による	5期符队:	果
/		コスト	
	削減	維持	増加
向上			
維持	•		
低下			
	向上維持	削減 向上 維持 ●	削減 維持 向上 維持 ●

外	部評価の実施	有	:	外部評価 (市民事業仕分け)	実施年度	平成22年度
改	H26進捗状況					
一善進捗状況等	H26取組内容					

	(委員からの意見等)
決算審査特別 委員会におけ	特になし
多貝芸にありる意見等	

事務事業評価票

所管部長等名 建設部長 市村 誠治
所管課·係名 下水道建設課 計画係

	_				—		7.C.C. HARIT HI - HI						
評価対象年度	平成26年度			課長名	長名 福田 新士								
			(Plan) 事務	事業の	計画								
					会計区	分	0	8 公共下水	〈道事簿	美特別会 言	+		
事務事業名	水処理センター	-施設	と整備事業		款項目コード(記	饮−項−目)	01	_	01	_	04		
					事業コード(大・	-中-小)	83	_	15	_	04		
	基本目標(章)		3 安全で快適に暮らせる	きち									
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政	汝策 】	1 うるおいのある快適なま	ちづくり							,		
おける位置づけ)	施策の展開(項)【旅	违策 】	5 下水道の充実										
	具体的な施策と内容	内容 1 快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全											
事務事業の目的		下水道に排出された汚水を処理する八代市水処理センター(新港町)において、老朽化した施設の改築更新や下水道整備拡大により必要となる施設を増築することにより安定した汚水処理を継続し、市民の快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図る。											
事務事業の概要 (全体事業の内容)	H26年度末時点で築 設の増設を行う。	29年(昨	召和60年3月30日一部供用開始)	の水処理	里センターにつ	いて、老	朽化に伴う	ō改築更新·	や汚水	量の増大	に伴う施		
根拠法令、要綱等	下水道法 第2章 公	第2章 公共下水道(第3条~第25条)											
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委討	ŧ	法令による	る実施義務	• 1	義務であ	る		
(該当欄を選択)	その他()		(該当榻	を選択)	2	義務では	ない		
事業期間	開始年度		合併前		終了年度未定								

(Do) 事務事業の実施										
評価対象年度の事業の内容										
対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)									
八代市水処理センターの施設	水処理センターは平成26年度時点で築29年が経過し、施設の老朽化が著しい状況である。そのため、平成25、26年度において第2期長寿命化計画に基づき改築工事を実施。改築対象として、最初沈殿池及び最終沈殿池の掻寄機									
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)	の更新や水路の防食工事が主なものである。									
八代市水処理センターの施設が適切に稼動することで、住民の快適な生活 環境の確保と公共用水域の水質保全を図る。	(事業概要) - 水処理センター改築工事委託 事業期間: 平成25~26年度の2ヵ年、総事業費: 264,660千円 委託先: 地方共同法人 日本下水道事業団 - 水処理センター再構築基本計画及びストックマネジメント基本構想策定業務 委託 等 (事業費)186,444千円 (財源)国庫支出金 90,298千円 社会資本整備総合交付金(1/2、5.5/10)、地方債 82,800千円 下水道事業債(100%) 等									
事業開始時点からこれ	ıまでの状況変化等									

八代市水処理センターは供用開始後約29年(H26時点)を経過し施設の老朽化が進んでいるため、施設の改築更新が必要となって来る。

コス	ト推	移					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込
	総事	事業	ŧ		(単位	:千円)	0	116, 388	190,644	0	0	0	0
		事業	美費(直接経費)	(単位:	:千円)	0	98,538	186,444	0	0	0	0
		国県支出金				0	39,068	90,298	0	0	0	0	
		地方債				0	33,442	82,800	0	0	0	0	
			内訳	その他特定財源(特別会計-	→繰入金)		0	922	7,495	0	0	0	0
			1	一般財源(特別会計→事業」	仅入)		0	25,106	5,851	0	0	0	0
				人件費			24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見込
			概算	算人件費(正規職員)	(単位	:千円)	_	17, 850	4,200	0	0	0	0
			正規	見職員従事者数	(単位	ī:人)	_	2. 55	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨日	寺職員	等	従事者数	(単位	ī:人)	_	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	事			指標名		単位	i /	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	業の			导命化計画策定から改築更新 €全体の実施率(事業期間:平		%	計画	ı	60.1	100	-	-	1
	の活	0		₹王体の美胞卒(争耒朔间:〒 <u>廿26年度まで)</u>	·成22年及~		実績	14.7	49.5	100	-	-	1
活	動	2					計画	ı					
動	量	٧					実績				-	-	ı
活動指標	実	3					計画	-					
		3					実績				-	-	-
	の数値化	(記:	述欄	〉※数値化できない場合									

水処理センター施設整備事業

別記様式(第5条関係)

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1	水処理施設の 整備	全体計画では6池(反応タンク)が必要。平成25年度 現在で3池。流入推量に応じて池の増設が必要とな		計画	ı	3	3	ı	ı	_
もたらそう	Э		る 。	池	実績	3	3	3	ı	ı	_
そうとす	2				計画	ı					
成果指標 りとする効果・は	3)				実績				ı	ı	_
成果の数値化	3				計画	ı					
化	9)				実績				ı	1	-
	〈記	述欄〉※数値化で	きない場合								

		44.00	(C	heck)事務事業のE	
		着眼点 		チェック	判断理由
	1	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	•	結びつく 一部結びつく	八代市総合計画に明記してある。
	L	つきょりか		結びつかない	
市衆中状の		【市民ニーズ等の状況】	•	薄れていない	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全における下水道事 業の担う役割は大きい。
事業実施の 妥当性	2	市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか		少し薄れている	
				薄れている	
		【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です	•	妥当である	下水道法に明記してある。
	3	か(国・県・民間と競合していません か)		あまり妥当でない	
		13. 7		妥当でない	
		【事業の達成状況】	•	順調である	長寿命化計画に基づいた改築工事が完了したことから順調である。
	1	成果目標の達成状況は順調に推移していますか		あまり順調ではない	
活動内容の		しいますが		順調ではない	
有効性	Г	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を	•	見直しの余地はない	本年度において、第2期長寿命化工事が完了したため。
	2	見直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできま		検討の余地あり	
		せんか)		見直すべき	
		【民間委託等】		できない	水処理センターの改築更新事業については、高度な知識と経験を有する人材が多数必要であるため、地方共同法人日本下水道事業団
	1	民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削		検討の余地あり	に施工委託を行っている。
		減することは可能ですか		可能である	
		【他事業との統合・連携】		できない	類似施設として、環境課所管の衛生処理センターがあり改築更新の 時期にきているため、今後事業連携を検討していく。
	2	目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可	•	検討の余地あり	
実施方法の		能ですか		可能である	
効率性		【人件費の見直し】	•	できない	施工委託を行っていることでこれ以上の人件費の削減はできない。
	3	現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件		検討の余地あり	
		費を削減することは可能ですか		可能である	
		【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、		見直しの余地はない	下水道事業においては、本来公費で負担すべき経費を除き事業収入 (下水道使用料・受益者負担金)により賄うのが原則であるが、施設整
	4	事務事業の目的や成業から考えて、 受益者負担を見直す必要はあります か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)		検討の余地あり	備費については使用料収入では賄えず、一般会計からの繰入金によ
				見直しが必要である	り補填している状況であることから、今後も検討が必要。

水処理センター施設整備事業 Page 2 of 3

,	別記禄	兀	(闰	ら余	関係)									
								(Actio	on) 事務事業の方向性と改革改善					
				1 不要(廃止)				(今後の方向性の理由)					
				2 民間第	ミ施				八代市水処理センターは、下水道施設の根幹的役割を担う非常に重要な施設であるため、今後も現金は大い中央において、					
	今後の			3 市による	る(民間委託	その拡:	大・市	「民等との協働等) 「民等との協働等)	後も現行どおり安定した汚水処理が求められる。 					
	方向性 当欄を選			4 市によ	る実施(要改割	善)							
			ullet	5 市によ	る実施(現行と	どおり	J)						
				6 市によ	る実施(規模技	広充)						
			今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果											
小 苯小羊内%		b灾	今後	も水処理	里センター	-に流 - 田 *	入す	る汚水量の将	来推計結果を慎重に吟味し、適切な時期や規模での改築更新	及び増設を行	iうことで、安定した放			
改革改善内容		ישינ	かじハ	、貝で飛り	すし、公共	·用小	.15K ().	/小貝休主で凶	ত ঃ					
	改革改	女善!	こよる期待成果											
			コスト				外部評価の実施		無	実施年度				
		削	減	維持	増加		改 H26進捗状況							
	向上						善進							
	.,						掺状	H26取組内容						
成果	維持						況							
果						L	•							
	低下													
	, ,						>+ W	· 京本 杜 四 44	(委員からの意見等)					
								算審査特別 特別 特別 特別 特別 対対	1-/JL					
								5意見等						

水処理センター施設整備事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 建設部長 市村 誠治

 所管課・係名
 下水道建設課 計画係

 課長名
 福田 新士

					所自妹·陈有 下小道建設妹 前 画 徐							
評価対象年度	平成26年度			課長名				福田	新士			
			(Plan) 事務	事業の	計画							
					会計区	分	01 一般会計					
事務事業名	雨水ポンプ場維	持管	理事業		款項目コード(款−項−目)	07	_	05	_	03	
					事業コード(大・	-中-小)	03	_	15	_	01	
	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるま	きち								
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策	ŧ】1	うるおいのある快適なま	ちづくり								
おける位置づけ)	施策の展開(項) 【施策	专】 5	下水道の充実									
	具体的な施策と内容	2	市街地における浸水防除									
事務事業の目的	日奈久浜町ポンプ場、	徳淵ポ	ンプ場の保守点検を的確に実	施し、大i	雨時の雨水を	速やかに	排除する	ことで、流垣	は住民の	生命財產	きを守る。	
事務事業の概要 (全体事業の内容)	日奈久浜町ポンプ場(日	日奈久》	兵町)、徳淵ポンプ場(本町4丁 [目)におけ	る維持管理立	±びに保 「	守点検を行	うもの。				
根拠法令、要綱等	下水道法 第3章 都市	3章 都市下水路(第二十六条~第三十一条)										
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委詢	ŧ	法令による		● 1 }	義務であ	<u></u> る	
(該当欄を選択)	その他()		(該当欄を選択)		2	義務では	ない	
事業期間	開始年度		合併前		終了年度未定							

	(Do) 事務事業の実施														
	評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等)														
5	対象	(誰	•何を)				内容 (手段、方法等)								
日	奈久	浜町	ポンプ場、徳淵ポンプ場				雨水ポンプ場が適切に稼動するよう維持管理を行う。								
	成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 大雨時の浸水被害を軽減し、流域住民の生命財産を守る。							(事業費)5,002千円 委託料 2,925千円 一 日奈久浜町ポンプ場機器保守点検委託 1,845千円 日奈久浜町ポンプ場浚渫委託 1,080千円 需用費 電気料 1,736千円 等 (財源)一般財源 5,002千円							
				Ę	事業開始)時点からこれ	までの状況す	変化等							
徳	日奈久浜町ポンプ場(日奈久浜町):昭和54年度供用開始【築36年】 今後は、老朽化による機器更新を計画的に行う予定。 徳淵ポンプ場(本町4丁目):昭和42年度供用開始【築48年】 現在では、流入水路の変更により、ポンプの稼動を停止し、バイパス及び放流ゲートのみの運 転管理となっている。														
コスト扌	隹移					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込			
総	事業	費		(単位:	:千円)	4, 109	7, 820	7,102	8,041	7,798	7,798	7,798			
	事	業費(直接経費)	(単位:	:千円)	4,109	3,970	5,002	4,611	4,368	4,368	4,368			
		財	国県支出金			0	694	0	0	0	0	0			
		源	地方債			0	0	0	0	0	0	0			
		内訳	その他特定財源(特別会計→繰	入金)		0	0	0	0	0	0	0			
		八	一般財源(特別会計→事業収入	.)		4,109	3,276	5,002	4,611	4,368	4,368	4,368			
			人件費			24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見込			
		概算	拿人件費(正規職員)	(単位	:千円)	-	3, 850	2,100	3,430	3,430	3,430	3,430			
		正規	見職員従事者数	(単位	ī:人)	-	0. 55	0.30	0.49	0.49	0.49	0.49			
臨	臨時職員等従事者数 (単位					-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
事			指標名		単位	t \	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度			
業						計画	-								
の 活	0) -			実績				-	-	-					
動						計画	-								
動士				実績				-	-	-					
指実標	<u> </u>		計画	-											
						実績				_	-	-			
の 数	〈記	过欄	〉※数値化できない場合												
値	・														

雨水ポンプ場維持管理事業 Page 1 of 3

別記様式(第5条関係)

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1				計画	ı					
もたらそう					実績				ı	ı	-
そうとす	2				計画	-					
成果指標 シとする効果・t	2				実績				-	-	-
成果の数値化	@				計画	-					
化	3				実績				-	-	-
		・ 述欄〉※数値化で 持管理業務である。	きない場合 ため数値化する指標は設定で	きない。	•						

			(C	heck)	事務事業の自	3己評価
		着眼点			エック	判断理由
		【計画上の位置付け】	•	結びつ	<	八代市総合計画に明記してある。
	1	事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか		一部結	びつく	
				結びつ	かない	
		【市民ニーズ等の状況】	•	薄れて	いない	浸水防除により区域内住民の生命財産を守る雨水ポンプ場の役割 は大きい。
事業実施の 妥当性	2	市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか		少し薄	れている	
				薄れて	いる	
		【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です	•	妥当で	ある	下水道法に明記してある。
	3	か(国・県・民間と競合していません		あまり	妥当でない	
		か)		妥当で	ない	
		【事業の達成状況】	•	順調で	ある	ポンプ等の設備は、老朽化が進んでいるものの、日常及び定期点検 整備を実施していることにより、順調に稼動している。
	1	成果目標の達成状況は順調に推移し		あまり	順調ではない	TE IM C CANCO CO O CCI CO A CANCO CO O O
活動内容の		ていますか		順調で	はない	
有効性		【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を	•	見直し	の余地はない	継続的な維持管理が求められる。
	2	見直す余地はありますか		検討の	余地あり	
		(成果をこれ以上伸はすことはできませんか)		見直す	べき	
		【民間委託等】		できなし	L)	施設の運転管理については既に民間委託を行っている。
	1	民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削		検討の	余地あり	
		減することは可能ですか		可能で	ある	
		【他事業との統合・連携】	•	できない	L)	各ポンプ場毎に仕様が違うため、他事業との統合・連携はできない。
	2	目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可		検討の	余地あり	
実施方法の		能ですか		可能で	ある	
効率性		【人件費の見直し】	•	できなし	L	必要最低限の人員であるし、施設に対する専門的な見地も必要とされるため、非常勤職員等による対応はできない。
	3	現状の成果を下げずに非常勤職員等 による対応その他の方法により、人件		検討の	余地あり	
		費を削減することは可能ですか		可能で	ある	
		【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、	•	見直し	の余地はない	受益者負担はない。
	4	受益者負担を見直す必要はあります か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃		検討の	余地あり	
		上)		見直し	が必要である	

雨水ポンプ場維持管理事業 Page 2 of 3

	別記禄) 万	弟り余	関係)							
							(Acti	on) 事務事業の方向性と改革改善			
			1 不要(廃止)				(今後の方向性の理由)			
			2 民間第	実施				大雨などからの浸水被害を軽減し、市民の生命と財産を守る。	ために、雨水	ポンプ場を適切に稼	
	今後の		3 市によ	る(民間委託	託の拡	大・市	市民等との協働等	動させることは、行政の役割であるため。			
	方向性 当欄を選	択)	4 市に	よる実施(要改	善)					
			5 市に	はる実施(現行と	どお	り)				
			6 市に	はる実施(規模	拡充)				
								今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果			
26 2	革改善 内	灾									
ųχ.	+W=r	ישר י									
	改革改	を善によ	る期待成	果							
			コスト			外	部評価の実施	無	実施年度		
		削減	維持	増加		改 H26進捗状況					
	向上					善進					
	1.3-2]	掺状	H26取組内容				
成果	維持					況	112042411111				
果	1277				ļ L	•					
	低下										
						2th 42	车宝木杜叫 4+	(委員からの意見等)			
								になし			
						る意見等					

雨水ポンプ場維持管理事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

 所管部長等名
 建設部長 市村 誠治

 所管課・係名
 下水道建設課 計画係

 課長名
 福田 新士

				川官誌.	床石		下 小 坦 廷		四1余				
評価対象年度	平成26年度			課長名				福田 第	新士				
			(Plan) 事務	事業の	計画								
					会計区	分		01 -	一般会詞	it			
事務事業名	都市下水路維持	<mark>诗管理</mark>	事業		款項目コード(割	次-項-目)	07	_	05	_ 03	}		
					事業コード(大・	-中-小)	03	_	15	_ 02	2		
	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるま	きち									
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政	(策】 1	うるおいのある快適なま	ちづくり									
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施策】 5 下水道の充実												
	具体的な施策と内容 2 市街地における浸水防除												
事務事業の目的			ることはもとより、水と人とのふために必要な維持管理業務を			て整備さ	れた排水	路である「宮	地都市	下水路」につ	い		
事務事業の概要 (全体事業の内容)			撤去などの軽作業については は専門業者に委託して維持管			ン、堆積ニ	上砂の撤去	⊹や樹木の卵	芳害 虫馬	☑除等の重機・	や専		
根拠法令、要綱等	下水道法 第3章 都	市下水路	各(第二十六条~第三十一条)										
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委訂	ŧ		る実施義務	• 1	義務である			
(該当欄を選択)	その他()	(該当欄	慢を選択)	2	義務ではない			
事業期間	開始年度		合併前		終了年	度			未定	-			

(Do) 事務事業の実施 評価対象年度の事業の内容 対象 (誰・何を) 内容 (手段、方法等) 宮地都市下水路の水路周りの環境整備として草刈り、樹木の病害虫駆除を行 宮地都市下水路 う。また、水路の断面確保としてごみや堆積土砂の撤去を行う。 (事業費) 1,692千円 委託料 580千円 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 大雨時における浸水被害を軽減し、流域住民の生命財産を守る。併せて、周 伏越工維持管理委託(地元有志団体) 155千円 辺住民の憩いの場としての景観施設などの維持管理を行う。 清掃業務委託(地元有志団体) 303千円 樹木病害虫駆除 122千円 需用費 1,112千円 浚渫 1,112千円

(財源)一般財源 1,692千円

事業開始時点からこれまでの状況変化等

地元有志団体の高齢化が進んでおり、維持管理委託が困難な状況となりつつある。

그자	推	移					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見過
1	総事	業費	į		(単位:	千円)	3, 520	5, 426	5,892	5,961	5,974	5,974	5,974
		事業	費(直接経費)	(単位:	千円)	3,520	1,226	1,692	1,831	1,844	1,844	1,844
			財	国県支出金			0	0	0	0	0	0	0
			源	地方債			2,825	0	0	0	0	0	0
			内訳	その他特定財源(特別会計→繰入会	金)		0	0	0	0	0	0	0
			小店	一般財源(特別会計→事業収入)			695	1,226	1,692	1,831	1,844	1,844	1,844
				人件費			24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見過
			概算	[人件費(正規職員)	(単位:	千円)	-	4, 200	4,200	4,130	4,130	4,130	4,130
			正規	見職員従事者数	(単位	::人)	-	0. 60	0.60	0.59	0.59	0.59	0.59
E	臨時	職員	等	従事者数	(単位	::人)	-	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	事			指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
3	業	1)	地元	記有志団体による維持管理		団体	計画	-	3	3	3	3	3
3	の 舌	Ŭ				шп	実績	3	3	3	-	-	-
活	動	2	堆積	貴土砂の浚渫		回/4	計画	-	1	1	1	1	1
動	量						実績	1	1	1	-	-	-
活動指標	実	3	樹オ	の病害虫駆除		回/4	計画	-	2	2	2	2	2
	漬の	•				ľ	実績	2	2	2	-	-	-
Ì	数	(記)	述欄	〉※数値化できない場合									
	直化												
1	L												

都市下水路維持管理事業 Page 1 of 3

別記様式(第5条関係)

		計画	ı					
		実績				-	-	-
		計画	-					
		実績				-	-	-
		計画	-					
8)		実績				-	-	-
2)			実績 計画 実績 計画 実績	実績 計画 - 実績 計画 - 実績	実績 計画 実績 計画 - 実績	実績	実績 - 計画 - 実績 - 計画 - 実績 -	実績 - - 計画 - - 実績 - - 実績 - - 実績 - -

			(C	heck)事務事業の[
				チェック	判断理由
	1	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	•	結びつく 一部結びつく 結びつかない	八代市総合計画に明記してある。
事業実施の 妥当性	2	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	•	薄れていない 少し薄れている 薄れている	突発的な豪雨が増える中、その役割はますます高まっている。
	3	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です か(国・県・民間と競合していません か)	•	妥当である あまり妥当でない 妥当でない	下水道法に明記してある。
活動内容の	1	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移していますか		順調である あまり順調ではない 順調ではない	安定的に維持管理している。
有効性	2	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を 見直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできま せんか)		見直しの余地はない 検討の余地あり 見直すべき	最低限の維持管理を行っている。
	1	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	•	できない 検討の余地あり 可能である	地元有志団体の協力のもと、低コストによる維持管理を行っている。
実施方法の	2	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	•	できない 検討の余地あり 可能である	地元有志団体の協力のもと、低コストによる維持管理を行っている
効率性	3	【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等 による対応その他の方法により、人件 費を削減することは可能ですか	•	できない 検討の余地あり 可能である	地元有志団体の協力のもと、低コストによる維持管理を行っている
	4			見直しの余地はない 検討の余地あり 見直しが必要である	受益者負担はない。

都市下水路維持管理事業 Page 2 of 3

;	別記禄	兀	(第5余	:関係)								
						(Actio	on)事務事業の方向性と改革改善					
			1 不要	(廃止)			(今後の方向性の理由)					
			2 民間	実施			地元有志団体の協力を頂いている間は現状維持で十分であるが、今後担い手がいなくなった					
	今後の		3 市によ	る(民間委詞	氏の拡大・i	市民等との協働等)	場合は、民間業者への委託を行う必要がある。					
	方向性 当欄を選		4 市に。	よる実施(要改善)							
			5 市に。	よる実施(現行どお	り)						
			6 市に。	よる実施(規模拡充	;)						
							今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果					
⊒ l - 1	t 그는 흐는 H		地元有志団	体の高齢	化が進ん	/でいるため、次	7世代の担い手探しが課題である。					
LX.	直改善 内	1 4										
	改革改	対善に	よる期待成	果								
			コスト		外	部評価の実施	実施年度					
		削	咸 維持	増加	改	H26進捗状況						
	向上				善進							
	<u> </u>				掺状	H26取組内容						
成果	維持				況	TIZOANALI TA						
果	442141											
	低下											
							(委員からの意見等)					
	124 1											
	1 Kg				決急	算審査特別 特別 員会におけ						

都市下水路維持管理事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

所管部長等名 建設部長 市村 誠治 所管課·係名 下水道建設課 計画係

				// T // D / D / D / D / D / D / D / D /									
評価対象年度	平成26年度			課長名				福田	新士				
			(Plan) 事務	事業の	計画								
					会計区	分		01	一般会詞	计			
事務事業名	雨水ポンプ場施	設整	備事業		款項目コード(詩	款−項−目)	07	_	05		03		
					事業コード(大-	-中-小)	03	_	15		03		
	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるま	きち									
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政策	策】 1	うるおいのある快適なま	なまちづくり									
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施第	策】 5	下水道の充実										
	具体的な施策と内容	2	市街地における浸水防御	涂									
事務事業の目的	日奈久浜町ポンプ場、 守る。	徳淵ポ	ンプ場の保守点検を的確に実	施し、大i	雨時の雨水を	速やかに	排除するこ	とで、処理	区域住	民の生命	ì財産を		
事務事業の概要 (全体事業の内容)	日奈久浜町ポンプ場(日奈久》	兵町)、徳淵ポンプ場(本町4丁目	目)におけ	る維持管理並	±びに保 「	守点検を行	うもの。					
根拠法令、要綱等	下水道法 第3章 都市下水路(第二十六条~第三十一条)												
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委託	ŧ	法令による		● 1 }	義務である	გ		
(該当欄を選択)	その他()	(該当欄	を選択)	2 i	義務では	ない		
事業期間	開始年度		合併前		終了年	度			未定				

						(1	Do) 事務事	業の実施					
						評価	面対象年度 <i>0</i>	事業の内容					
	対	象	(誰	·何を)				内容 (手	段、方法等)				
	成	果目	標	ポンプ場、徳淵ポンプ場 (どのような効果をもたらしたいの 水被害を軽減し、処理区域住民の		を守る。		施設築 (改集期請の 事業事請の 田本 田奈久の 明の 19,040千の 日奈久の 日奈久の 日奈久の 日奈久の 日奈久の 日奈久の 日奈久の 日奈久	平成26年度〜 費:24,651千円 ンプ場建築改 ンプ場機械設・ うち平成26年 ンプ場電気設	· 平成29年度 築工事(H26) 備改築工事(B 度分) 3, 備改築工事(B	、総事業費 6,502 H26~H27) 456千円 H26~H27)	: 313,000千円 2千円	
	徳淵	#ポ ^ン	ノプ増	ポンプ場(日奈久浜町):昭和54年 場(本町4丁目):昭和42年度供用開 でいる。	变供用開	台【築36年	時点からこれ F】 今後は、	までの状況3	機器更新を記	十画的に行う	予定。	等	トのみの運
コス	ト推	移					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込
		業			(単位	:千円)	5, 995	11, 113	29,641	84,292	117,530	113,530	0
		事第	美費(直接経費)	(単位	:千円)	5,995	7,263	24,741	78,762	112,000	108,000	0
				国県支出金			2,387	2,905	9,860	31,488	44,800	43,200	0
			財源				0	0	13,300	42,500	60,400	58,300	
			内	その他特定財源(特別会計→繰	入金)		0	2,350	0	0	0	0	0
			訳	一般財源(特別会計→事業収入)		3,608	2,008	1,581	4,774	6,800	6,500	
							24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見込
			概算	「人件費(正規職員)	(単位	:千円)	-	3, 850	4,900	5,530	5,530	5,530	0
			正規	見職員従事者数	(単位	ኔ:人)	-	0. 55	0.70	0.79	0.79	0.79	0.00
	臨日	持職員	員等	走事者数	(単位	ኒ:人)	-	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	事			指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	業	•		(久浜町ポンプ場の長寿命化計画)	策定か	%	計画	-	4.6	202	60.5	80.3	100
	の活	(1)	ら改	築更新までの事業進捗率			実績	2	4.6	20.2	-	-	-
*	動	0					計画	-					
活動	量	2					実績				-	-	-
指	宝	②					計画	-					
標	績	3					実績				-	-	-
	の数値化	〈記	 述欄	〉※数値化できない場合									

雨水ポンプ場施設整備事業 Page 1 of 3

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1				計画	ı					
もたらそう					実績				ı	ı	I
そうとす	2				計画	-					
成果指標					実績				-	-	-
成果の数値化	(2)				計画	-					
化	3				実績				-	-	-

〈記述欄〉※数値化できない場合

施設の機能を維持管理するための事業であること、また浸水被害は降雨の状況に左右されるが、降雨は不測であることから、成果指標は数値化できない。

			- / -		
		-throng to	(C	heck) 事務事業の[
	1	着眼点 		チェック	判断理由
	1	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	•	結びつく 一部結びつく 結びつかない	八代市総合計画に明記してある。
事業実施の 妥当性	2	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	•	薄れていない 少し薄れている 薄れている	浸水防除により区域内住民の生命財産を守る雨水ポンプ場の役割 は大きい。
	3	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です か(国・県・民間と競合していません か)	•	妥当である あまり妥当でない 妥当でない	下水道法に明記してある。
活動内容の	1	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	•	順調である あまり順調ではない 順調ではない	ポンプ等の設備は、老朽化が進んでいるものの、日常及び定期点検整備を実施しているため、順調に稼動している。
有効性	2	【事業内容の見直し】		見直しの余地はない 検討の余地あり 見直すべき	継続的な維持管理が求められる。
	1	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	•	できない 検討の余地あり 可能である	施設の運転管理については既に民間委託を行っている。
実施方法の	2	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	•	できない 検討の余地あり 可能である	ポンプ場毎に仕様が違うため、他事業との統合・連携はできない。
効率性	3	【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等 による対応その他の方法により、人件 費を削減することは可能ですか		できない 検討の余地あり 可能である	必要最低限の人員であり、施設に対する専門的な見地も必要とされるため、非常勤職員等による対応はできない。
	4			見直しの余地はない 検討の余地あり 見直しが必要である	受益者負担はない。

雨水ポンプ場施設整備事業 Page 2 of 3

	別記録) 万	第5余	関係)								
							(Actio	on) 事務事業の方向性と改革改善				
			1 不要((廃止)				(今後の方向性の理由)				
			2 民間3	実施				大雨等による浸水を軽減するために雨水ポンプ場を適切に稼	動させ、市民	の生命と財産を守る		
	今後の		3 市によ	る(民間委	託の拡	大・市	市民等との協働等)	ことは行政の使命であるため。				
	方向性 当欄を選		4 市に	よる実施(要改氰	善)						
			5 市に	よる実施(現行と	ビお	り)					
			6 市に	よる実施(規模技	広充)					
								今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果				
26 ž	5 35 美古	城							,			
LX.	ズ革改善内容											
	改革改善		はる期待成	果	_							
	\		コスト			外	部評価の実施	無	実施年度			
		削減	維持	増加		改	H26進捗状況					
	向上					善進						
	IF) I					掺状	H26取組内容					
成果	維持					況等	LIZONVIEL 1-E					
果	4427.3					7						
	低下											
	12.					·	* 	(委員からの意見等)				
								になし				
						る意見等						

雨水ポンプ場施設整備事業 Page 3 of 3

4260702

事務事業評価票

所管部長等名 建設部長 市村 誠治 下水道建設課 計画係 正答: 10.100

				// LI II/	IN H	1 73	'/E/L-II/II'	, ні П	•		
評価対象年度	平成26年度			課長名				福田	新士		
			(Plan) 事務	事業の	計画						
					会計区	分	0	8 公共下水	〈道事業	特別会計	t
事務事業名	雨水ポンプ場管	理運	営事業		款項目コード(詩	吹-項-目)	01	_	01	_	02
					事業コード(大-	-中-小)	83	_	15	_	10
	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるま	きち							
施策の体系 (八代市総合計画に	施策の大綱(節) 【政	策】 1	うるおいのある快適なま	ちづくり							
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施	策】 5	下水道の充実								
	具体的な施策と内容	2	市街地における浸水防御	余							
事務事業の目的	中央ポンプ場・野上ポ の生命・財産を守る。	ンプ場・	麦島ポンプ場の保守点検を的	確に実施	もし、大雨時の	雨水を返	速やかに排	除すること	で、排水	〈処理区均	戊内住民
事務事業の概要 (全体事業の内容)	中央ポンプ場(新開町))、野上が	ペンプ場(本町1丁目)、麦島ポン	ノ プ場(中	北町)における	ó維持管 ³	理並びに保	守点検業科	答を行う	iもの。	
根拠法令、要綱等 下水道法 第2章 公共下水道(第3条~第25条)											
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委託 法令による実施義務 ● 1 義務			義務であ	る		
(該当欄を選択)	その他() (該当欄を選択) 2義務ではな			ない			
事業期間	開始年度		合併前		終了年	度			未定		

(Do) 事務等	事業の実施
評価対象年度の	り事業の内容
対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)
中央ポンプ場(新開町)、野上ポンプ場(本町1丁目)、麦島ポンプ場(中北町) 成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか) 大雨時の浸水被害を軽減し処理区域住民の生命・財産を守る。	【現年分】48,077千円 委託料:26,081千円 中央ポンプ場No.2 φ 1500ポンプ用 エンジン部品整備委託 12,960千円 中央ポンプ場ボンプ井浚渫委託 5,656千円 中央ポンプ場等し渣処分業務委託 1,986千円 野上ポンプ場雨量監視システム導入委託 3,705千円 除草作業委託 502千円 等 需用費 18,047千円 光熱水費 15,812千円 燃料費 1,129千円 等

事業開始時点からこれまでの状況変化等

化

中央ポンプ場(新開町): 昭和56年度供用開始【築34年】 野上ポンプ場(本町1丁目): 昭和47年度供用開始(ポンプ2台)【築43年】、平成24年度野上ポンプ場増設分供用開始(ポンプ2台)【築3年】 麦島ポンブ場(中北町): 平成17年度供用開始【築10年】

スト推	移				24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見込
総	事業	費		(単位:千円)	0	12, 758	52,977	0	0	0	0
	事	業費(直接経費)	(単位:千円)	0	5,408	48,077	0	0	0	0
		財	国県支出金		0	2,704	0	0	0	0	0
		源	地方債		0	0	0	0	0	0	0
	内 訳 その他特定財源(特別会計→繰入金)			金)	0	0	0	0	0	0	0
		אם	一般財源(特別会計→事業収入)		0	2,704	48,077	0	0	0	0
			人件費		24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見足
		概算	拿人件費(正規職員)	(単位:千円)	-	7, 350	4,900	0	0	0	0
		正規	見職員従事者数	(単位:人)	-	1. 05	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00
臨	诗職	員等	従事者数	(単位:人)	-	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事			指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業の	(1)				計画	-					
活					実績				-	-	-
活動	2				計画	-					
動量					実績				-	-	-
活動指標 1動量・実績	3	,			計画	-					
保績の	L				実績				-	-	-
数	〈記	已述欄	〉※数値化できない場合								

雨水排水処理施設の維持管理に係る事業であり、当該年度の天候に左右されるため、指標を数値化できない。

雨水ポンプ場管理運営事業 Page 1 of 3

別記様式(第5条関係)

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1				計画	-					
もたら					実績				-	-	-
たらそうとす	2				計画	-					
成果指標	2				実績				-	-	-
成果の数値化	(0)				計画	-					
化	3				実績				-	-	-
		・ 述欄〉※数値化で 水排水処理施設(- きない場合 の維持管理に係る事業であり、	当該年度の	天候に左	右されるため)、指標を数値	正化できない。			

(Check) 事務事業の自己評価 着眼点 チェック 判断理由 八代市総合計画に明記してある。 結びつく 【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び (1) 一部結びつく つきますか 結びつかない 浸水防除による区域内住民の生命・財産を守る雨水ポンプ場の役割 薄れていない 【市民ニーズ等の状況】 は大きい。 事業実施の 市民ニーズや社会状況の変化によ 少し薄れている 妥当性 り、事業の役割が薄れていませんか 薄れている 【市が関与する必要性】 下水道法に明記してある。 妥当である 市が事業主体であることは妥当です ③ か(国・県・民間と競合していません あまり妥当でない **か**) 妥当でない ポンプ等の設備は、老朽化が進んでいるものの、日常及び定期点検 順調である 整備を実施しているため、順調に稼動している。 【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し あまり順調ではない ていますか 順調ではない 活動内容の 有効性 【事業内容の見直し】 継続的な維持管理が求められる。 見直しの余地はない 成果を向上させるため、事業内容を 見直す余地はありますか 検討の余地あり (成果をこれ以上伸ばすことはできま 見直すべき せんか) 施設の運転管理については既に民間委託を行っている。 できない 【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な 検討の余地あり どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか 可能である 各ポンプ場毎に仕様が違うため、他事業との統合・連携はできない。 できない 【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と 検討の余地あり の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか 可能である 実施方法の 必要最低限の人数であり、施設に対する専門的な見地も必要とされ 効率性 【人件費の見直し】 できない るため、非常勤職員による対応はできない。 現状の成果を下げずに非常勤職員等 検討の余地あり による対応その他の方法により、人件 費を削減することは可能ですか 可能である 【受益者負担の適正化】 受益者負担はない。 見直しの余地はない 事務事業の目的や成果から考えて、 受益者負担を見直す必要はあります 検討の余地あり か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 見直しが必要である 止)

雨水ポンプ場管理運営事業 Page 2 of 3

,	別記様	(元)	第5条	関係)						
							(Actio	on) 事務事業の方向性と改革改善		
			1 不要(廃止)				(今後の方向性の理由)		
			2 民間	実施				雨水ポンプ場を適切に稼動し、市民の生命と財産を守ることに	は行政の使命	であるため。
	今後の		3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)							
	方向性 当欄を選		4 市に	よる実施(要改善)						
			● 5 市による実施(現			行どおり)				
			6 市による実施(規模拡充))			
								今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果		
26-2	本改善 内	郊								
4 λ-	FWE	ישנ								
	改革改	対善に。	ころ期待成	果						
			コスト			外部評価の実施		無	実施年度	
		削減	減 維持 増加			改 H26進捗状況				
	向上					善進				
	7					掺状	H26取組内容			
成果	維持					況	TIEO ANIEL TE			
果	44213				ļ [7				
	低下				١,					
	, ,					24.4	4京本社の144	(委員からの意見等)		
						委	算審査特別 特(員会におけ	こなし		
	る意見等									

雨水ポンプ場管理運営事業 Page 3 of 3

事務事業評価票

所管部長等名 建設部長 市村 誠治 所管課·係名 下水道建設課 計画係

				川官誌'	1余石	下 小 坦	建议床	計画1余				
評価対象年度	平成26年度			課長名	課長名 福田 新士							
			(Plan)事務	事業の	計画							
					会計区分		08 公共下水道事業特別会計					
事務事業名	雨水ポンプ場が	記設整	備事業		款項目コード(割	款−項−目)	01	_	01	_	04	
					事業コード(大・	-中-小)	83	_	15	_	11	
	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせる	きち								
施策の体系 (八代市総合計画に	・ ・ ・ ・ ・ うるおいのある快適なまちづくり											
おける位置づけ)	施策の展開(項)【施	策】 5	下水道の充実									
	具体的な施策と内容	2	市街地における浸水防	余								
事務事業の目的	八代市公共下水道において大雨時の浸水被害を軽減するために建設された雨水ポンプ場の長寿命化を計画的に行うことで、処理区域に おける浸水被害の軽減を図る。											
事務事業の概要 (全体事業の内容)	雨水ポンプ場のうち、特に老朽化の進む中央ポンプ場の施設の改築・更新や建屋の耐震補強を行うことで、雨水ポンプ場の安定稼動に 資するもの。											
根拠法令、要綱等	下水道法 第2章 公	共下水流	道(第3条~第25条)		_							
実施手法	全部直営		● 一部委託		全部委訂	ŧ	法令による	る実施義務	• 1	義務である	5	
(該当欄を選択)	その他()	(該当欄	を選択)	2	義務ではな	ない	
事業期間	開始年度		合併前		終了年	度			未定			

 (D_0)	事務事業の実施

評価対象年度の事業の内容

対象 (誰・何を)内容 (手段、方法等)中央ポンプ場・野上ポンプ場・麦島ポンプ場【現年分】5,400千円

______ 委託料 5,400千

成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)

大雨時の雨水浸水被害を軽減させることで、計画区域内住民の生命・財産を 守る。 委託料 5,400千円

中央ポンプ場長寿命化計画策定業務 5,400千円

事業開始時点からこれまでの状況変化等

中央ポンプ場は、昭和56年に供用開始され、これまで対象区域における大雨時の浸水被害軽減に寄与してきた。しかしながら、当該ポンプ場も平成25年度 末で築33年を経ており、老朽化がかなり進行しており、今後故障した場合は代替の部品入手が困難であり、建屋の耐震性能もないことから、早急な改築・更 新が必要である。

スト丼	接移					24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度予算	28年度見込	29年度見込	30年度見過
総	事業	費		(単位	:千円)	0	14, 666	12,400	0	0	0	0
	事	業費(直接経費)	(単位	:千円)	0	10,816	5,400	0	0	0	0
		財	国県支出金			0	2,704	2,700	0	0	0	0
		源	地方債			0	0	0	0	0	0	0
	内 その他特定財源(特別会計→繰入金)					0	2,704	2,700	0	0	0	0
		訓	一般財源(特別会計→事業4	又入)		0	5,408	0	0	0	0	0
			人件費			24年度	25年度	26年度	27年度見込	28年度見込	29年度見込	30年度見過
		概算	[人件費(正規職員)	(単位	:千円)	1	3, 850	7,000	0	0	0	0
		正規	見職員従事者数	(単位	立:人)	-	0. 55	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨	時職.	員等	従事者数	(単位	立:人)	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事			指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事 業	(1)		マポンプ場の長寿命化計画策 きまでの事業進捗率	定から改築	%	計画	ı	0.7	1.3	2.5	33.7	45.4
の 活		1友让	きまじの争未進抄卒		70	実績	0	0.7	1.3	ı	-	ı
舌動	(2)					計画	1					
舌助 量.						実績				ı	-	ı
音票	(3)					計画	ı					
	9					実績				ı	-	ı
の数	〈記	述欄	〉※数値化できない場合	_					_	_		
値												

雨水ポンプ場施設整備事業 Page 1 of 3

別記様式(第5条関係)

		指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	1				計画	-					
もたら					実績				-	-	-
たらそうとす	(0)				計画	-					
成果指標 、とする効果・1	2				実績				-	-	-
成果の数値	(計画	-					
化	3				実績				-	-	-
		述欄〉※数値化で 设の機能維持する	きない場合 ために改築更新する事業であ	り、成果を指	標として数	・ 数値化するこ	とは困難であ	<u></u>			

			(C	heck)	事務事業の自	己評価
		着眼点			エック	判断理由
		【計画上の位置付け】	•	結びつ	<	八代市総合計画に明記してある。
	1	事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか		一部結	びつく	
				結びつ	かない	
		【市民ニーズ等の状況】		薄れて	いない	浸水防除により処理区域内住民の生命財産を守る雨水ポンプ場の 役割は大きい。
事業実施の 妥当性	2	市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか		少し薄	れている	KENIGACV 0
				薄れて	いる	
		【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当です	•	妥当で	ある	下水道法に明記してある。
	3	か(国・県・民間と競合していません		あまり	妥当でない	
		か)		妥当で	ない	
		【事業の達成状況】	•	順調で	ある	長寿命化計画については国の認可を得ており、本事業は順調に進捗している。
	1	成果目標の達成状況は順調に推移していますか		あまり	順調ではない	
活動内容の				順調で	はない	
有効性		【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を	•	見直し	の余地はない	施設の機能維持を目的とした改築更新事業であるため、事業内容の 余地はない。
	2	見直す余地はありますか (成果をこれ以上伸ばすことはできま		検討の	余地あり	M. Block of
		(成果をこれ以上伸はすことはできませんか)		見直す	べき	
		【民間委託等】		できなり	L)	長寿命化計画策定は、すでに民間委託である。
	1	民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削		検討の	余地あり	
		減することは可能ですか		可能で	ある	
		【他事業との統合・連携】	•	できなり	L)	国の補助を受け雨水の排水施設改築工事はじめとした施設長寿命化という目的であることから、他事業との統合・連携はできない。
	2	目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可		検討の	余地あり	1.52
実施方法の		能ですか		可能で	ある	
効率性		【人件費の見直し】	•	できなり	L	必要最低限の人員であり、施設に対する専門的な見地も必要とされるため、非常勤職員等による対応はできない。
	3	現状の成果を下げずに非常勤職員等 による対応その他の方法により、人件		検討の	余地あり	
	L	費を削減することは可能ですか		可能で	ある	
		【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、	•	見直し	の余地はない	受益者負担はない。
	4	受益者負担を見直す必要はあります か(引上げ・引下げ・新たな負担・廃		検討の	余地あり	
		上)		見直し	が必要である	

雨水ポンプ場施設整備事業 Page 2 of 3

	別記禄	式 ()	第5余	関係)						
							(Actio	on)事務事業の方向性と改革改善		
	1 不要(廃止)							(今後の方向性の理由)		
			2 民間第	 能				既設ポンプ場の改築・更新により機能維持を目的としている事	業であるため	か。
	今後の		3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)							
	方向性 当欄を選	択)	4 市による実施(要改善)							
(● 5 市による実施(現行どおり)							
			6 市による実施(規模拡充)							
								今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果		
36 3	革改善内	1 553								
LX.	中以告尸									
	改革改	善によ	る期待成	果	<u> </u>					
	<u> </u>		コスト			外部評価の実施		無	実施年度	
		削減	川減 維持 増加			改 H26進捗状況				
	向上					善進				
	147					掺状	H26取組内容			
成果	維持					況	112042/11273			
果	4.17.1					7				
	低下									
	,					.		(委員からの意見等)		
							算審査特別 特(員会におけ	こなし		
る意見等					- 1					

雨水ポンプ場施設整備事業 Page 3 of 3